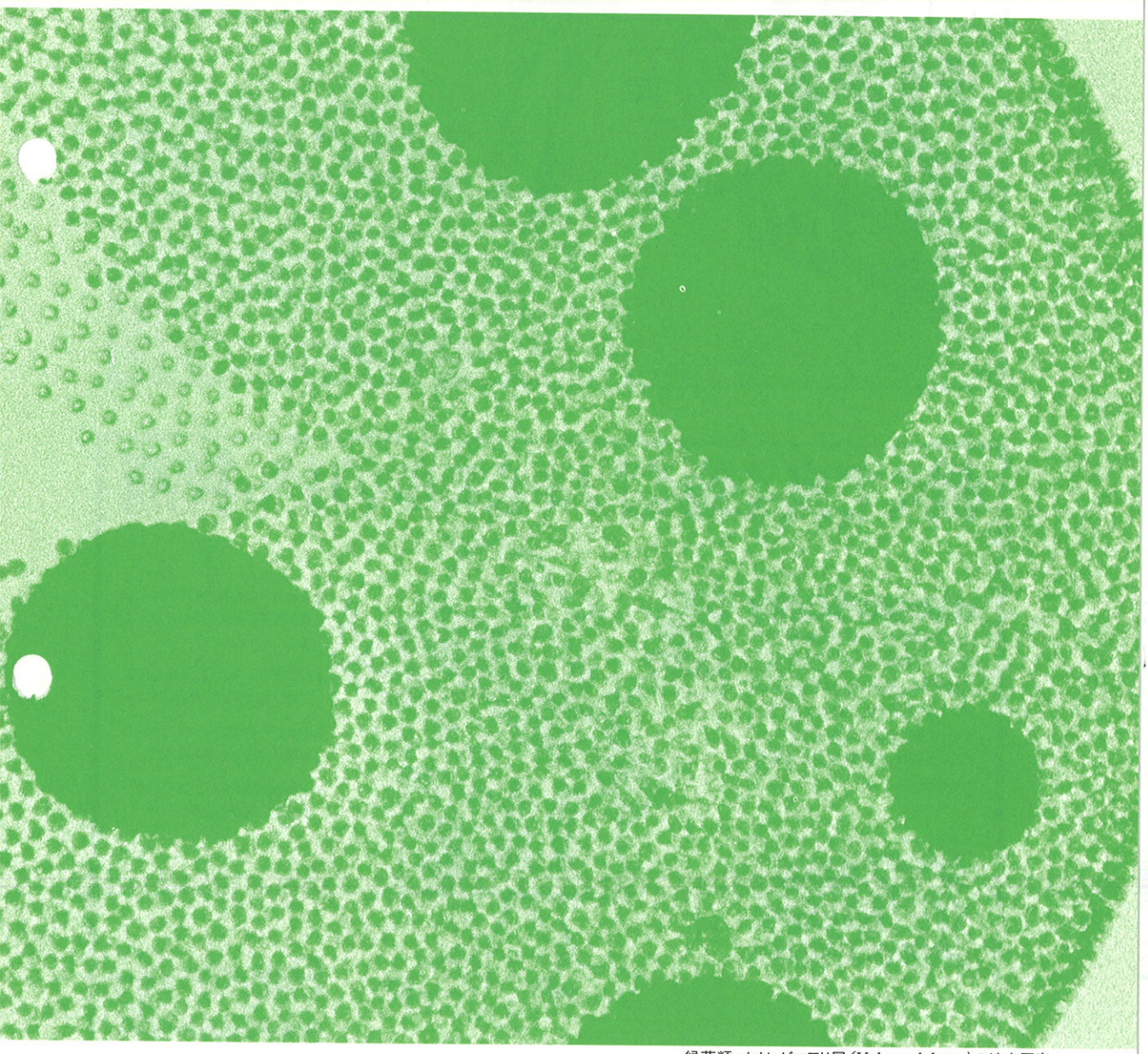
ISSN 0289-8233

植調

第28巻第11号



緑藻類・オオヒゲマワリ属(*Volvox globator*)の拡大写真

財団法人　日本植物調節剤研究協会編

ひと足伸びた馬力の一発。

シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利です。省力化の時代に応えて、今ここに新しいタイプの初中期一発処理除草剤の誕生です。

水田初中期一発処理除草剤

SINZAN シンザン®粒剤

®：住友化学工業㈱・日本バイエルアグロケム㈱・三井東圧化学㈱の共有登録商標

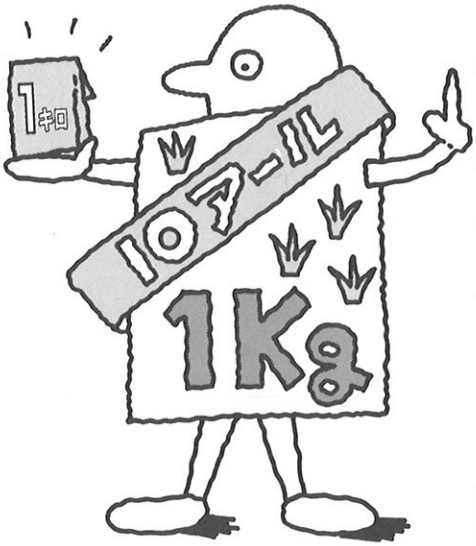
〈シンザン普及会〉
塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／
日本バイエルアグロケム／住友化学工業
三井東圧化学／三井東圧農薬

（事務局）
三井東圧農薬株式会社
東京都中央区日本橋室町2-1-1

軽くて良く効く！バイエルの1キロ粒剤

水田初・中期一発処理1キロ除草剤

バイエルの1キロ除草剤は軽量・小型・まきやすい粒剤で、なんといっても楽。効果は高く、機械散布に対応しているおなじみの粒剤から生まれたミニ袋。はるかに省力化された除草剤で、これからの時代にあった雑草防除のための傑作。



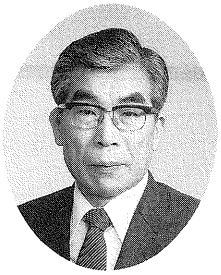
- ノビエから水田一年生雑草・多年生雑草に優れた効果を示します。
- クログワイやセリなど難防除草に高い効果が期待できます。
- 最近とくに問題のアオミドロや表層剝離の発生も抑えます。
- 処理適期幅が広く、実用的な除草効果があがります。

バイエル
ザーク®1キロ粒剤76
ザークD®1キロ粒剤61
アクト®1キロ粒剤

＊地域に合わせてお選びください。

Bayer BAYER

日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108



巻頭言

定　点　観　測

(財)日本植物調節剤研究協会　理事　東海支部長　**片岡一男**

この巻頭言を執筆することになって，平素の問題意識の不足から，主題の決定に迷い，草稿を前に苦吟していたとき，兵庫県南部地震が発生した。この阪神大震災は，戦後最大の犠牲者を出すなど，被災者にとっては極めて辛いことになっている。一日も早い復興を祈るとともに，改めて「自然に対する畏怖」を呼び起こした。

日本列島は，地震だけでなく，台風・豪雨など自然の脅威に，いつもさらされている。都市の機能整備を進めるあまり，国土の約4％の面積に総人口の26％がひしめく構造となっている日本列島なるがゆえに，災害に対するもろさがあるといわれる。大都市集中の是正は，「百年河清を待つ」ようで，半ば諦めに近いものになりつつあったが，この災害を機に「災害に強い国土作り」のために地方・農村対策を含めた総合対策が，本格的に進められることを期待する。

農業は，絶えず自然の影響をもろに受ける。自然災害と闘い，回避し，克服し，時には災害となじみながら何千年の歴史を保ってきた。一昨年の冷夏と日照不足，昨年の高温と水不足も近年稀にみる異常気象であった。しかも，その落差は想像できないほど大きかった。

昨年の水不足に際しては，少ない水を有効かつ平等に配分するために努める「ムラの人々」の姿をあちこちで目にした。そして，史上稀にみる大豊作となり，また除草剤使用の上でも，大きな問題を起こさずに済んだという。

こと農業用水に関しては，「ムラの生命」といわれ，先人は「水と土木の技術者」として遺産を残し，代々伝承されてきた。近年，その断絶を愁うる声を耳にするが，昨年の農村を見る限り，なお底辺のところで脈々と受け継がれている思いがした。ただ，「ムラぐるみ」ではなく，誰かが中心となる新しい仕組みに変わりつつあるが。

阪神大震災の復興を目指し，隣人仲間が小さな組織を作って力強く立ち上がる被災地の皆さんの姿と共通するものを見て，稲作文化で築かれてきた日本人の底力を窺い知った。そして，そこにこそ新しい社会を創っていく原点があるという思いを深くした。

わが国の水田が，かつての姿に逆戻りすることは先ずあり得ない。生活を維持・発展さすために改善を加えたのが今の姿であり，今後も生活を基盤とした変化の生ずるのは当然のことである。変わっていいもの，変わらずに残るもの，また新しく生れるものがある。消えることを憂い，消さないことのみを論ずるよりも，消してはならないものの新しい姿での盛り上がりを求め，その道筋を拓くことこそが重要だと思う。

「定点観測」は，いろんな場面で使われる観測法である。そこに立てば，世の移り変わりがよく見える。変わらないものもよく分かる。

古きよき文化と変転きわまりない現世との対比をみるにはまたとない観察方法ではある。どこに立つかによって，観察結果に差が生れる。「コメ」をめぐる情勢の激変とそれに係わる人々の生き方が多様化している現今にあって，その「定点」は，たくましく生きる「ムラの人々」の中にこそある。今，現場に入り，定点観測を行う「現場の農業技術指導者」のもたらす情報に寄せる期待は大きい。変革期にある除草剤使用技術についても，また然り。

目　　次

（第 28 巻 第 11 号）

巻　頭　言
定　点　観　測…… 1
<(財)日本植物調節剤研究協会　理事
東海支部長　片岡一男>

除草剤開発の想い出（34, 結）…… 3
<(財)日本植物調節剤研究協会
顧問　吉沢長人>

無農薬の悲劇（XVI）……13
<宇都宮大学雑草科学研究センター長
近内誠登>

平成 6 年度春夏作野菜花き関係除草剤・
生育調節剤試験成績概要……17
<(財)日本植物調節剤研究協会　技術部>

新登録除草剤・生育調節剤一覧……30
<農林水産省農蚕園芸局植物防疫課>

植調協会だより……41

使って安心、三共の農薬。

●畦畔から手軽にまける
（新しい）水田初期一発処理剤
カルショット® フロアブル Lフロアブル

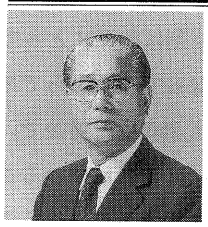
●水田初期一発処理剤
三共 スラッシャ® 粒剤

●移植前・水田初期除草剤
シング® 乳剤

●水田初期除草剤
サンバード® 粒剤

●新しい水田中期除草剤
ザーベックス® SM粒剤

三共株式会社



除草剤開発の想い出（34，結）

㈶日本植物調節剤研究協会　顧問　吉沢長人

除草剤開発の想い出について

除草剤開発の想い出と言う題名で，植調誌に連載して参りましたが，今月号を以ちまして終りに致したいと存じます。長い間有難うございました。又当協会の職員の方々については，原稿その他の協力有難うございました。厚く御礼申し上げます。

今回は最後でありますので，除草剤の使用面積や農作業と省力の程度，その他これからの除草剤の方向などについて記載してみたいと思います。

もし雑草防除が農林省研究部において，作物以外の部門において進められていたならば，すなわち，畜力利用部門，農機具部門で積極的に行われていたならば，どの程度省力化が成立っていたかであります。それは畜力利用部門は一時畜力機械として雑草防除にタッチしていましたが，省力化はいま一つでありました。機械部門ではまた除草作業を機械に置き替えることに積極的ではなかったと思います。しかし当時の担当者がもし積極的に進めていたならば，現在のような除草剤利用の雑草防除の如く，大きく発展していたことと思います。その当時の除草労力は10ａ当り50.6時間を必要としていましたが，機械力の利用によって著しく合理化され，そしてそれが現在まで進められていたならば除草労力は，あの当時より大きく減少していたことと思います。しかしどの程度までになったかは不明ですが，大体，正条植で縦横を機械によるとすれば10ａ当り縦40分，横40分で１回80分，それを２回行うとすれば160分となるかと思います。大変省力化された方法です。そして雑草防除が機械化によることが中心となったとすれば，現在のような環境に及ぼす影響として論じられることはなかったろうかと思われます。一方，機械化は機械力が伴うので，その機械の購入費はそれ相当にプラスされ，また更新のための経費も相当必要であると考えられます。ところがわが国では当時雑草防除は作物関係が担当しており，しかも，その当時の雑草防除は手取り除草が中心でした。それがアメリカにおいて除草剤2,4－Ｄが開発され，わが国にはＧＨＱの天然資源局の紹介により導入され，京都大学農学部と東京大学農学部にて種々研究した結果，広葉雑草に有効でありました。それを引受けたのは作物関係であったということで，それ以降雑草防除は化学的薬剤の除草剤で進められ，平成６年９月末現在では水稲関係で農薬登録されている除草剤数約195剤の多きに達しています。そして農薬登録されたものの，その後除草剤として利用されなくなったもの，その他の諸事情で登録が更新されなかったものなどもあります。しかし，なお118除草剤の多くが農家の水稲用雑草防除剤として利用されています。それらに

よって水田の雑草防除は大きく合理化されており，すなわち，除草剤の利用によって水稲雑草防除は10ａ当りわずかに1.8～2.0時間と省力化され，しかも使用に当って，むかしは手取り除草であったものが，現在では粒剤やフロアブル剤等であるため散布の方法も簡便になっています。この意味からみれば雑草防除を作物関係が分担してきてよかったと思います。

(1) 除草剤の使用面積とその動向

わが国で毎年使用される除草剤の出荷金額は平成6年度で総額1,243億円，面積にして水稲，畑作，永年作物，非農耕地を入れて709万ｈａと計算されます。そしてこの趨勢はあまり年によってかわらないだろうと思われます。現在農薬と言えば環境に対する影響が強いとみられ，なにかと問題が大きく論じられる割合には，あまり使用量等に変動が生じていないと思われますが，それは作物の生産を維持，強化するためには農薬は必要だからであり，特に除草剤は農民にとってはなくてはならないものとなっているからであります。したがって，年間1,200億円前後で，これを僅かに上下する範囲に維持されていることは，除草剤が必要であるからであり，除草労力が如何に過重であったかを物語っていると思われます。かつては10ａ当り除草労働時間は50.6時間（6.3人）と大変な労力を必要としていました。それも人間の労働力で，しかも炎天下の四つ這いの田の草取りは大変過重な労働でした。昔のあの作業を知っている人は，現在は少なくなってしまったため，すなわちあの田の草取りの作業について云々する人も少なくなったことと思います。そして今では除草剤の力によって最も省力的になっており，10ａ当り2.0～1.8時間となり，しかも立ち作業にかわってしまった訳であります。これが現在の除草作業であり，今まで最も過重な手取り作業であった

表－1. 作業別労働時間の推移（10ａあたり）

水　　稲

（単位：時間）

作業名 / 年次	苗代一切 種子予措	耕起・整地・基肥	田植	除草	かん排水管理	稲刈・脱穀・籾摺	その他	生産管理	総労働時間
1949	9.9	27.5	34.8	50.6	18.6	72.3	2.5		216.2
	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		(100)
1958	9.9	26.6	26.3	31.0	22.4	65.1	2.1		183.4
	(100)	(97)	(76)	(61)	(120)	(90)	(84)		(85)
1968	7.7	18.2	24.4	15.4	11.4	50.3	5.1		132.5
	(78)	(66)	(70)	(30)	(61)	(70)	(204)		(61)
1978	7.4	11.6	9.6	7.0	10.6	21.6	3.9		71.7
	(75)	(42)	(28)	(14)	(57)	(30)	(156)		(33)
1987	6.5	8.2	6.9	3.5	8.7	13.3	3.3		50.4
	(66)	(30)	(20)	(7)	(47)	(18)	(132)		(23)
1992	5.7	6.6	5.9	2.0	7.7	9.9	2.3	1.0	41.1
	(58)	(24)	(17)	(4)	(41)	(14)	(92)		(19)

(注) 1. 1966年以前の労働時間は，農林省農林経済局統計調査部編集，「重要農産物生産費調査報告」および農産物生産費調査報告「米生産費」による．
2. 1967年以降の作業別労働時間は，農林水産省経済局統計情報部編集，農産物生産費調査報告「米および麦類の生産費」による．
3. （　）内の数字は，1949年の各作業に要した時間に対する割合（％）．

表－2. 農薬種類別出荷金額一覧表

種類＼年度		1960 昭和35年	1970 昭和45年	1980 昭和55年	1989 平成元年	1993 平成5年
除草剤	金額	1,930	21,403	88,774	105,629	128,166
	%	8.2	25.8	27.4	35.8	30.8
植物成長調整剤	金額	296	1,326	3,866	6,709	8,229
	%	1.3	1.6	1.2	2.3	2.0
殺虫剤	金額	13,832	33,809	119,554	90,924	140,828
	%	58.6	40.8	36.9	30.8	33.9
殺菌剤	金額	6,969	18,329	86,302	74,387	105,870
	%	29.5	22.1	26.6	25.2	25.5
その他	金額	593	7,984	25,378	17,773	32,472
	%	2.5	9.6	7.8	6.0	7.8
総計	金額	23,620	82,851	323,875	295,442	415,565
	%	100	100	100	100	100

(注) 1. 単位は金額: 100万円
2. %は総出荷金額に対する各薬剤の比率（参考: 農薬要覧）

表－3. 除草剤出荷金額及び使用面積の推移（全国）

財団法人 日本植物調節剤研究協会
平成6年12月

		平成3年度（9月末）		平成4年度（9月末）		平成5年度（9月末）		平成6年度（9月末）			
		金額（百万円）	面積（千ha）	金額（百万円）	面積（千ha）	金額（百万円）	面積（千ha）	金額（百万円）	前年対比	面積（千ha）	前年対比
水稲	土壌混和処理	4,599	303	4,418	290	4,064	266	4,628	114	300	112
	一発処理剤	38,989	1,703	41,826	1,809	43,853	1,883	48,088	110	2,075	110
	土壌処理剤	6,426	781	5,919	724	5,701	697	3,873	68	410	59
	茎葉兼土壌処理剤	7,273	512	5,869	403	5,035	379	5,972	119	367	96
	茎葉処理剤	1,795	349	1,654	309	1,509	266	1,914	127	283	106
	その他茎葉処理剤	5,396	288	5,447	278	5,441	282	5,611	103	311	110
	小計	64,479	3,935	65,133	3,813	65,604	3,772	70,087	107	3,746	99
畑作物	土壌処理剤	11,017	1,264	10,058	1,157	9,600	1,101	9,077	95	998	91
	茎葉処理剤	7,312	710	8,716	773	9,835	892	8,226	84	897	101
	小計	18,329	1,974	18,774	1,930	19,435	1,993	17,303	89	1,895	95
永年作物非農耕地	土壌処理剤	6,561	188	8,809	225	8,222	238	7,850	95	304	128
	茎葉処理剤	24,099	1,186	23,463	1,146	22,126	1,063	21,437	97	1,046	98
	茎葉兼土壌処理剤	5,598	111	6,387	114	6,144	111	7,645	124	95	86
	小計	36,258	1,486	38,659	1,484	37,829	1,412	36,932	98	1,445	102
合計		119,066	7,395	122,566	7,227	122,868	7,177	124,322	101	7,086	99

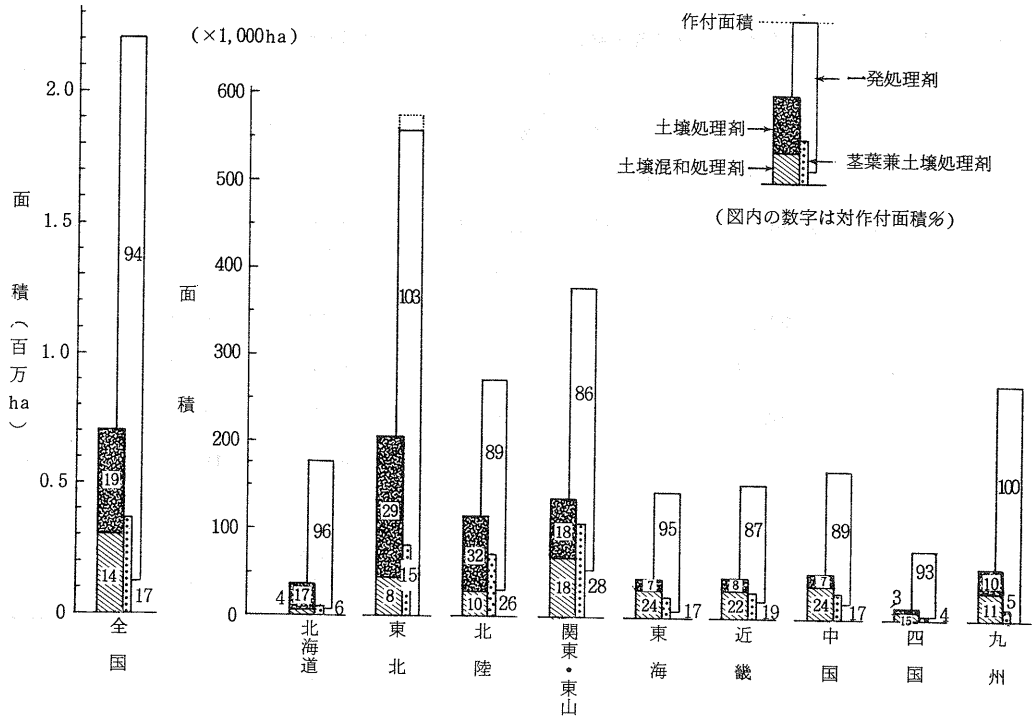
ものを，水田各作業のなかで軽作業化を実現した結果を迎えるに至っております。

最近は水田農作業のすべてが省力化されています。水田の三大作業としての刈取り脱穀調整もバインダー又はコンバインの機械利用によって10a当り9.9時間（14%）となり，また田植作業は機械移植栽培法によって，10a当り5.9時間（17%）に省力化されました。しかしこれらの作業の省力化は機械化をともない，その作業自体の省力化は達成されたものの，経費の負担は倍増し，農機具の負担は逆に莫大な支出となって農家経営をおびやかしています。

そのため，その機械力に伴なった経営面積にしようとして規模の拡大を図ろうとしている状況があります。日本では広大な経営面積を計画しても，その面積はあまり多くを望めない，すなわち水田全体の20%～35%程度ではなかろうかと思えます。国は現在このための経費として約41兆円を計上し10年がかりで進めようとしていますが，機械化貧乏とならないようにお願い致したいと思います。適正な規模において機械化を進めることは必要でありますが，過剰な計画は機械貧乏をもたらす前提ともなり，その点見直してみる必要があるのではないかと考えます。

除草剤の利用は，それに対して常に考えて行っております。有効な除草剤の開発についてはメーカーによって行われていますが，その利用法については当協会が中心となって行って来ています。研究としては基礎，応用，実用の3段階の研究が実施されていますが，実際に行うことは困難を伴います。それは研究者が有機的につながって試験研究にあたることができにくい情況にあることです。たとえば研究者も他の部門に昇格して行ったり，5～7年程度で他の部門に移動してしまうことがあるからです。その点当植調協会は大体同一研究に従事することが出来る情況にあるため，基礎的，応用的，実用的段階の研究が一貫して進められることができます。特に基礎的段階の研究は開発関係会社側で，相当詳しく行われているので，これまでは応用的，実用的段階について行うことを主眼とし，しかも，その研究はあまり長い年月をかける必要もなく，せいぜい2～3年の期間である目的は達成できる体制として，特に薬剤の作用性に応じた混合化を中心にした実用的な研究を行ってまいりましたし，それでよかったと思う訳です。すなわち，いままでわが国の除草剤の進歩は，単剤利用としての時代は，昭和25年から昭和42年頃まででありました。2,4－D，MCP，PCP，MO，サターンなどであります。これは雑草の発生として一年生雑草が中心であったからであります。それが，水田に発生する雑草も多様化され，一年生雑草，それもイネ科，広葉雑草，また多年生雑草もカヤツリグサ科，広葉雑草と複雑な雑草の発生となってくると，それらに有効な，しかも効力の持続性の長いものが必要となって来たため，除草剤の混剤化に拍車がかかるようになった訳であります。このように除草剤は単剤の利用法が最も単純でありますが，発生する雑草によっては一年生，多年生雑草を同時防除しなければ有効な除草剤とは言われないと思われるところから，対策として当協会が中心となって有効な混合剤化の研究を行い，当協会の現地試験地や全国各県の農試による実用化試験を通して解決して来たのであります。

ですから，常に発生雑草と有効な除草剤を結びつけて研究を行っているのが当協会の姿勢であります。



図－1. 平成6年度　水稲除草剤地域別使用面積　（植調協会調べ）

(2) 一年生，多年生雑草防除法

この雑草防除は茎葉兼土壌処理法と言って，昭和42年頃から進められたものであります。これは私の本記事中の別項に詳細に記載致しましたので省略しますが，雑草の発生面積はノビエは194万ha，ホタルイは91万ha，ウリカワ83万ha，ミズガヤツリ45万haと大きな面積でありました。これを同時処理によって防除する除草剤を開発しようとして適応薬剤の混合剤化を行ってきた結果，その処理面積は約200万haと広く普及されることになりました。

(3) 土壌混和処理法の開発研究

この除草剤として主なものはロンスター，デルカット乳剤とがあります。当初この除草剤は茎葉兼土壌処理剤としてもメーカーは開発を進めていたのでありますが，しかしその処理方法では薬害が著しく，使用に堪えない状態と判断されました。それを当協会で薬害を回避する方法として土壌混和処理をしたところ，よい結果を得ていました。それではということになり，実際に試験を実施した結果，薬害は葉鞘褐変程度で顕著に軽減され，しかも効果も大きいことが判った次第です。この除草剤はホタルイにはあまり有効ではなく，そのためこのホタルイに有効であるブタクロール剤を混合することが問題となりました。その混剤化についてモンサント㈱と日産化学工業㈱に申し入れしたところ，当時モンサント㈱は，この混剤化については積極的ではなく，それを強力に押し進めたのが当協会であり，それでは混剤化をしようとして，そしてその後2種混合剤としてデルカット乳剤が登録された次第であります。このデルカット乳剤は最大45万ha，近年は一発処理剤に押され

表－4. 平成5年度 水稲作付規模別農家数と作付面積 （平成5年農業構造動態調査報告書より）

	計		0.5 ha 未満		0.5 ～ 1.0 ha	
	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
全国	2,467,890	1,911,349				
都府県	2,430,720	1,752,795	1,205,910	352,458	720,730	492,219
東北	475,470	517,560	154,440	49,424	137,310	96,280
北陸	233,210	243,084	66,800	22,758	78,780	56,019
関東・東山・東海	733,340	424,019	435,630	118,840	191,010	128,222
近畿・中国・四国	612,330	333,510	347,230	104,514	201,070	133,923
九州	375,870	234,215	201,550	56,859	112,400	77,683
			1 ha 未満		1 ～ 2	
北海道	37,170	158,554	4,460	2,469	3,540	5,136

	1.0 ～ 1.5 ha		1.5 ～ 2.0 ha		2.0 ha 以上	
	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
全国						
都府県	254,010	301,394	114,910	193,730	135,170	412,994
東北	71,330	85,787	44,250	74,940	68,130	211,129
北陸	40,240	48,568	21,890	37,300	25,510	78,439
関東・東山・東海	60,680	71,473	24,100	40,431	21,900	65,051
近畿・中国・四国	45,010	52,386	11,130	18,459	7,880	24,227
九州	36,700	43,135	13,540	22,599	11,690	33,940
	2 ～ 3 ha		3 ～ 5 ha		5 ha 以上	
北海道	4,790	11,785	10,130	39,405	14,260	99,785

て25万ha程度となっています。

(4) 一発処理剤の開発研究

昭和50年頃から同57年頃までに強く要望されて来たのが，この一発処理剤であります。この一発処理剤には①初期一発処理剤と②初・中期一発処理剤とがありますが，対象となる雑草は一年生雑草全般はもとより，多年生雑草のホタルイ，ウリカワ，ミズガヤツリ，あるいはそれに難防除雑草のオモダカ，クログワイなど広範囲の雑草に有効な除草剤です。しかも，この除草剤は処理期の巾が広く移植後5～13日頃で効果の持続性も45～55日と長い方であります。この一発処理剤として①初期一発処理剤は27剤で，使用面積は850千ha，②初・中期一発処理剤は20剤で使用面積は1,226千ha，併せて47除草剤，使用面積2,075千haと，現在では水田除草剤中最も大きく使用されるに至っています。この除草剤の成分は(ア)ベンスルフロンメチルを中心とした混合剤，(イ)ピラゾスルフロンエチルを中心

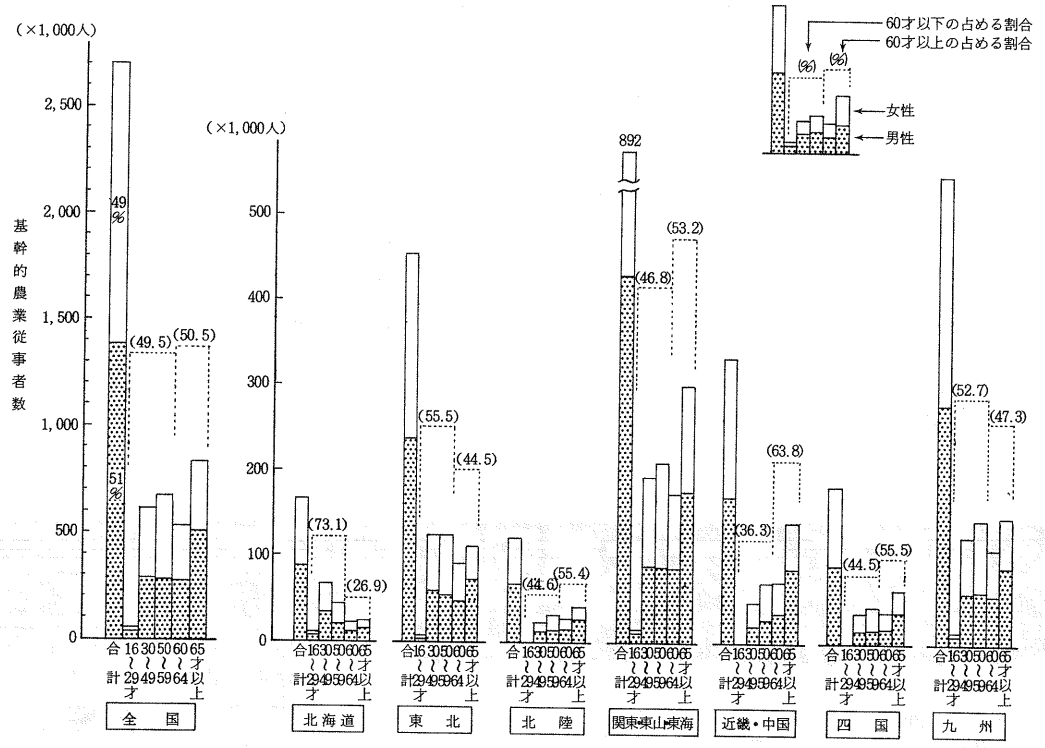
とした混合剤，(ウ)イマゾスルフロンエチルを中心とした混合剤，(エ)その他の4種類に大別されます。なかでもベンスルフロンメチルは当初から開発が進められ，現在では初期一発処理剤が14剤，初・中期一発処理剤10剤で，普及面積は1,406千haを占め，最も多く使用されている薬剤のひとつであります。

(5) 多年生雑草防除剤の開発について

水田に発生する多年生雑草には，ホタルイ，ミズガヤツリ，ウリカワ，ヒルムシロ，オモダカ，クログワイなどがあり，特にクログワイ，オモダカは多年生雑草のなかでも強害草であります。

この雑草に有効とされている除草剤のなかで，ベンタゾンがあります。このベンタゾンはクログワイなどに特に有効であることは多くの試験事例でも認められていますが，それでも一回の処理で完全に防除することは困難で，2回処理又は同剤の混合剤のグラスジン剤との併用で高い効果のあることが判っています。ベンタゾン剤については取扱い関連会社の間で研究会を組織し普及に移されていますが，しかし問題は本剤の販売価格が10a当り約3,500円と高価格のため，その使用面積は一時は13万ha と，特定な地帯に普及された実績はあるものの，その後順次減少し最近は6万ha 程度に使用されているのみであります。このようにわが国では，あまり高価格の除草剤の普及は困難であると思われます。

以上いろいろのことを申しましたが，これから除草剤の開発方向はどのようになるかと申しますと，ガットウルグワイランドの影響から，米が開放されることになったことであります。



図－2.　平成5年度　基幹的農業従事者数　（平成5年農業構造動態調査報告書より作図）

米は自由化となり，その対策として米の生産費を低減することが最も重要な課題となります。米の生産費で最も高いのは農機具費と労働費で，これらが約61.8％を占めています。これらの価格の低減を図ることは勿論大切なことですが，その他の部門についても経費の節減を図ることが必要となります。これを達成させるためにも経営面積の拡大，規模の拡大が論じられていますが，中核農家を育てることも重要である一方，10～20 ha 規模の大経営農家が30～40万戸と組織化され生産者集団を育成することが大切であろうと思われます。だがこのことは大きな希望であって，なかなか実現し難いことであります。そして実現し得ないとすれば徒らな機械購入によって，機械の稼動率が落ちることが想定され，現在でも機械化貧乏が叫ばれている情況下であるのに対し，さらにこのうえ機械貧乏にすることはどうしても喰止めて行かねばならない重要な問題と考えられます。

それについては農薬をほんとに理解して進めて行くことが必要ではないかと思うとともに，いたずらな計画の推進は問題となるだろうと思われます。

したがって，各持ち場，持ち場において最善の努力を図り，コストの低減に向って新軌軸を出して行くことが大切でしょう。

わが除草剤の利用開発部門について言えば，まず，除草剤はもともと省力化を図ることが最も重要な役目と言えましょう。その目標達成について常に想いを廻らし，かつコストの低減のため前進をしてまいりました。それは除草剤の土壌混和処理法の開発もしかり，また茎葉兼土壌処理剤の開発もしかり，一発処理剤もしかりで，常に2～3回の処理回数に及んでいた除草剤の利用方法を，1回（場面によっては2回）の除草剤処理で可能とするような効力，持続性の向上，また薬害のない除草剤の開発，さらには環境への影響についても配慮することが，これから大切なことと思います。

そしてここに申したいことは，散布機械を全く使用せず，しかも除草効果が十分に達成され，ドリフト等環境にも特に影響を及ぼさない除草剤ジャンボ剤であります。このことは既に別項で詳細に記載してあるので，それを参照して貰いたいと思いますが，今後当分の間はこのジャンボ剤の開発を推進してゆきたいと考えています。さらに今後考えられることは，このジャンボ剤の現行10～20個の散布量を，如何に低コスト化して行くか，それについては10 a 当り3,000円を基本に考えて，さらに散布量を減少し，しかも十分な除草効果の維持と薬害の発生しないものにするかということです。またフロアブル剤も同様な低成分散布をして行くかにあると思われます。よろしくこれらのことを念頭において除草剤の発展を期して行きましょう。

長い間有難うございました。　　（完）

新刊 山野草・樹木生態図鑑
シダ類・裸子植物・被子植物（離弁花）編　監修／沼田　真　編者／浅野貞夫・桑原義晴
B5判・664頁・オールカラー・定価25,000円（本体24,272円）
北海道から沖縄まで日本列島に生育するシダ植物、山野草、雑草、帰化植物、樹木について、カラー写真 2,655点、図版 830点をつかい、生活型、個々の種の特徴や類似植物との区別点などを追究

姉妹編　沼田真・吉沢長人／編集
日本原色雑草図鑑
B5判／414頁（カラー1,020点）
定価10,094円（本体9,800円）
全国農村教育協会
東京都台東区台東1-26-6（植調会館）
〒110 TEL.03－3833－1821㈹

Natural Compound
HERBI

天然物で確実除草!

雑草を枯らし ハダニ類を密度抑制し

天然物だから
自然と調和して 確実除草!!

果樹園・野菜畑・桑園・
水田・非農耕地の
雑草防除……

●有効成分は天然物です。
●作物・土壌など環境に安全です。
●雑草を速く枯らし長く抑えます。
●ほとんどの雑草に有効です。
●果樹等の根元まで散布でき、
播種、定植直前も使用できます。
●殺ダニ効果があります。

有効成分：ビアラホス…18%
安 全 性：普通物
包　　装：750mℓ

ハーピー®液剤

※果樹園の下草処理でハダニ類の
密度抑制効果が認められています。

Meiji 明治製薬株式会社
104東京都中央区京橋2-4-16

水田除草はフロアブルの時代!

タケダ

水口施用も
適用拡大
されました。

楽ら〜く快適!
水稲用一発処理除草剤
■水口施用 ■手振り散布 ■田植同時施用

アワード®
フロアブル

●水田に入らず、短時間で散布できます。
●水稲に対する安全性が高く、
田植直後から使用できます。
●水中拡散性に優れ、除草効果が安定しています。
●散布器具が不要で大変便利です。

●農薬は正しく使いましょう!

武田薬品工業株式会社 アグロ事業部 〒103 東京都中央区日本橋2丁目12番10号

ホクコーの主要除草剤

●初期一発処理剤
プッシュ®粒剤
スラッシャ®粒剤
クサメッツ®フロアブル

●初・中期一発処理剤
バトル®粒剤
レインジャー®粒剤

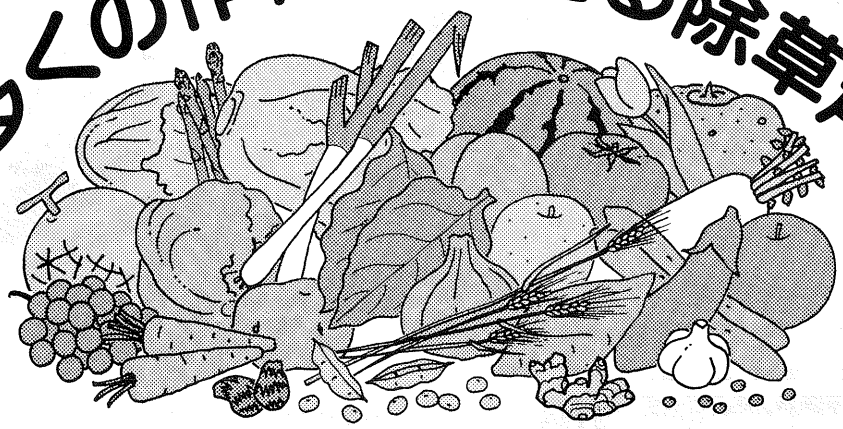
●初期除草剤
レトリー®フロアブル
ユニハーブ®フロアブル
ブローダックス®乳剤

JAグループ
農 協|経済連| 全農

北興化学工業株式会社
〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

農薬会社は、日本農業の発展を願い、安全で効果の高い農薬を創(つく)りおとどけしています。

多くの作物に使える除草剤



トレファノサイド* 乳剤 粒剤2.5

シオノギ製薬
大阪市中央区道修町3-1-8 〒541

'91.3.B52

無 農 薬 の 悲 劇 (XVI)

宇都宮大学雑草科学研究センター長 近 内 誠 登

これからの農産物に対する要求の方向として安価，安全，高質の食糧が求められているというが，満たされた食糧に囲まれた消費者の都合のよい要望ともうけとれる。

農業の真の目的は，緑色植物を用いて太陽エネルギーを最大限にキャッチする技術であり，自然条件で行われる農業が果たしてどこまで消費者の要望に応えられるだろうか。

人類歴史の中で最大の発明は農業であり，農業の発展が人口増加をはかってきた。もっともこの頃では食糧の生産量とは関係なしに人口爆発が続いているが。

安全な食糧とは

毎日食べる食糧が安全でなくてもよいなどと考える人はいる筈がない。まして食糧を生産する農家が安全でないものを生産しているとしたら，その農家は即刻農業を中止させられる運命（いわゆる自殺行為）でしかない。食糧の安全性を求める声の裏には，農薬の危険性という妄念がつきまとっている。それは農薬は生き物を殺ろすから，人間にも必らず害がある筈だとする素人の発想によるところが大きい。

農家の個人が病害虫・雑草を防除するのに使った農薬が，作物に残留しているかどうかをいちいちチェックすることは不可能である。そこで農水省，厚生省，環境庁が長期間にわたって，その農薬が作物に残留しない使い方を定めて使用されている訳で，いわゆる「農薬の使用基準」がそれである。これによって農薬を使う農家も，農産物を食べる消費者も守られているのである。

農薬に限らず便利な今の生活を支えているものはすべて安全基準が定められ，人間生活が保護されていることを忘れてはならない。

運転の安全を守る道路交通法，建物の安全を守る建築基準法，電気・ガスの安全な使い方，その他消防法，危険物取締法，医療取締法，農薬取締法といった具合に我々の生活をとりまく安全を保証するために，いくつもの安全策が施されている。なのに農薬だけがなぜ危険視されるのだろうか。それは多分に大多数の消費者にとって農薬は必要なく，農薬に対する無知偏見，過去の悪事例への執着そして飽食時代の限りない要求に集約されよう。

わが国の今日の生活は高度に発展した科学技術に支えられていることは疑う余地はない。日々刻々開発される新技術を生活に導入する姿勢は日本人のフレキシビリテーを示しているが，農薬も日々刻々新しいものつまり安全性のより高いものへと進んでいることを忘れてはならない。

凡そ安全と危険とは別質のものではなく，一つの物質がもつ二面性である。つまり，安全の

延長線上に危険があるのであって，それを分けるのは“程度”という言葉が最もぴったりしている。車のスピード，飲酒量，飲料水中の重金属，自然に浴びる放射線，空中の塵埃，そして人の言動など一定レベルすなわち程度を超えれば危険極りない。

農薬についても使用基準によって安全が保証されている訳で，基準量を超えて倍量を使う人はいない。薬量を上げたからといって効果が高まることはなくムダになるだけで，経費が高くなるだけのことである。つまり使用基準に定められた量が過不足なく病害虫・雑草を防除できることを農家は十分に知っている。このことを消費者は理解し信用しなければならない。

知られざる農業背景

太古から農作を願い収穫を喜こぶ行事が有形無形の形で行われてきた。それは自給自足の時代の風習であるが，やがて農業と他産業の分業へと発展し，農業人口が10％以下になると農業生産者への感謝や興味も薄れていき，消費者の難しい要求が顕在化していく。曰く，農業は自然に戻れ，もっと美味しいものを作れ，もっと自然を守れといった具合である。

これまで農家や農学者がめざしたものは食糧の安定増産にほかならなかった。その中で最も力を入れたことが，作物の最大の減収要因である病害虫・雑草対策であった。この分野はほかのどの国よりも熱心に取り組んできた。

諸外国に比べてわが国では農薬の使用量が多いとされている。これが消費者にとって，日本の農家が外国に比べて楽をしているか怠慢であると映るらしい。しかしよく考えてほしい。日本ほど雑草・病害虫にとって好適な繁殖環境にある国はないのである。肥沃な土壌，豊富な水，四季の変化は作物にとって最高の条件であるが，それにも増して多くの生物（作物への加害生物）にとってもこの上ない好適環境にある。これは農業に適した環境であると同時に，これほど農業のやりにくい国もないのである。古来，日本農業の大部分の労働は害虫追いと草取りのくり返しであった。まして病気の発生は天命として諦めるよりなかった。これが農薬によって解放されたことに誰が非難することができようか。疫病で人間がバタバタと死んでいく禍いを医薬をもって防いだことと，作物が病害虫・雑草によって全滅する禍いを農薬をもって回避することと，どこに違いがあるだろうか。医薬の開発にはノーベル賞が与えられるが，人類生命の根源である作物保護剤の開発についても，同賞の対象となっても不思議ではない。

わが国農業の特徴として環境問題のほかに，就農人口の激減がある。農村子弟の他産業への流出である。外国でも同様の現象はあるが，わが国ではとくに著しい。これを補う手段が機械と農薬である。いいかえせばこの技術を完全なものにしなければ，農村若者を繋ぎとめる方策はない。

有機農法を謳歌し，非効率的，過重労働農業を強いれば，後継者なき農村として崩壊の道を速めるだけである。

農業といえども一国の経済活動と深く関っており，生活用品は高価なものへと推移していく中で，農産物だけが安い方向に推移しなければならないこととは矛盾している。他産業が効率化を追求するならば，農業で生計を樹てる人々にも効率化を追求する権利はある。農薬の必要性，それはその国の歴史，環境，現状から生れるもので，日本農業にとっては不可欠な資材として位置づけなければならない。

環境保全型農業のゆくえ

昨年10月に中国武漢市（華中農業大学）で開かれた農村の近代化討議に招待され，環境保全型農業について話す機会を得た。これは先方の依頼で4時間にわたる講演であったが，最後の30分は除草剤の話を加えた。大体環境保全型農業について4時間も話す内容もなかったし，冒頭「環境を破壊したのは工業であり，農業は環境を守ってきたから連綿と続いてきた産業である」と述べたら拍手がわいたのには驚いた。これは序言と同時に結論でもあった訳である。もっと驚いたことには，講演後の質問が，この雑草はどうして防除するか，フロアブルについてもっと説明してくれ，除草剤の効果変動は等々，すべて除草剤に関するもので，環境保全型農業に関するものは一つもなかった。それは中国農業が環境保全型農業そのものであり，この非効率的重労働低生産農業からいかにして脱却し，近代化農業を求めているかをうかがうことができた。

環境保全型農業の基本は，農業副産物の農地への還元，産業・家庭廃棄物の農地への利用，肥料・農薬の低投入を柱としている。これは当然の目標であり異論はないが，これだけで農産物が豊富に生産されるとする考えには同調できない。問題は投入される労働と収益の収支で農業経営が成り立つかどうかである。豊富な労働力に支えられる農業と減少する就農人口で行う農業とは己ずから取り組み方が違ってくる。

いま日本に求められる農業のあり方は，農地を含めた非耕地環境の保全であろう。山間隣接地，休耕田，水路周辺，畦畔土堤の保全管理こそ人間生活環境を守ることであり全国民の等しく望んでいるところである。

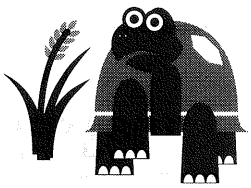
そのためには，国策として国庫助成のもとにこれを推進すべきであろう。その基本技術は有害雑草の選択的防除と緑化保全に有効な草種の保存，育成と適度の大きさに制御をはかる技術開発である。自然保護は放任ではなく，人間の細心な管理のもとに成しうるものである。そのためには農業者も消費者も共通の土俵に立って，農地・非農耕地の効率的保全手段を考える必要がある。

新刊
SHIBUYA INDEX (英語版)
—Index of Pesticides— 1993年版
渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円（税込）
1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第6版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余種を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余種も掲載。
呈内容見本
全国農村教育協会 〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話／03-3833-1821 FAX／03-3833-1665

新しい茎葉処理タイプの
水稲倒伏軽減剤

土壌条件や水管理を気にせず
生育を見ながら出穂直前まで散布できます。

液剤タイプの水稲倒伏軽減剤



足腰の強いゾウガメ

ビビフル®
フロアブル

®：クミアイ化学工業(株)登録商標

JAグループ
農協 | 全農® | 経済連
®は登録商標です

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-91 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03(3822)5131

①使用前にはラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③小児の手の届く所には置かないでください。

平成6年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人　日本植物調節剤研究協会　技術部

平成6年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は，平成6年12月13～14日，池之端文化センター（東京都台東区池之端1丁目3番45号）において開催された。

この検討会には，試験場関係者，委託関係者等計133名が参集し，前回未検討を含め除草剤20剤（延べ35作物，102点），生育調節剤11剤（延べ11作物，43点），展着剤（延べ1作物，2点）について，試験成績を検討し，適用性に対する評価が行われた。

その判定結果については，次表に示すとおりである。

平成6年度　春夏作野菜・花き関係委託試験薬剤および判定表

A．野菜関係除草剤

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. BJL－861 微粒（バスアミド・ガスタード）〔ビーエーエスエフジャパン〕	ダゾメット……98%	ショウガ	適用性 新規	植調岩手，新潟園試，植調研，長崎農林試，植調熊本人吉；(5)	〔露地普通；一年生雑草全般〕定植20日前；1,000，2,000，3,000g；土壌混和処理．	継	(継) 効果，薬害の確認．
2. CG－123 フロアブル（ゲザノン）〔日本チバガイギー〕	アトラジン……15% メトラクロール…25%	ヤマノイモ	適用性 新規	道南農試，十勝農試．－ (2)	〔露地栽培；一年生雑草全般〕植付後萌芽前；20，40 ml；土壌処理．イネ科雑草4葉期まで；20，40ml；茎葉処理．	継	(継) 効果，薬害の確認．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計 〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量 <水量 l>／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
3. PL−10 細粒（カイタック）〔日本農薬〕	ペンディメタリン …1.5％ リニュロン …1.0％	ニンジン	適用性 新規	青森畑園，（千葉北総），（愛知園研），香川三木，長崎農林試＊. (5)	〔露地普通；一年生雑草全般〕 播種直後，雑草発生前；300, 400, 500 g；土壌処理.	継	(継) 効果，薬害の確認.
4. S−28 乳（クレマート）	ブタミホス ……50%	アスパラガス	適用性 継続	北海道農試，岩手園試，長野南信，広島農技セ. (4)	〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 植付後萌芽前（雑草発生前）；20，30，40ml <10>；土壌処理.	実	(実) 〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 ・萌芽前，雑草発生前. 20〜40ml <10〜16 l>／a. 全面土壌処理.
		タマネギ	適用性 継続	中央農試，北見農試. (2)	〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 定植直後，3日後（雑草発生前）；20，30，40ml <10>；土壌処理.	実	(実) 〔露地移植；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 ・定植活着後. ・定植後〜3日後（寒地のみ）. 20〜40ml <10〜16 l>／a. 全面土壌処理.
		ラッキョウ	適用性 新規	青森砂丘*，石川砂丘*，（鳥取園試）. (3)	〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 植付後萌芽前（雑草発生前）；20，30，40ml <10>；土壌処理.	継	(継) 効果，薬害の確認.
		ピーマン	適用性 継続	岩手南部，新潟園試，長野中信，宮崎畑園. (4)	〔一任；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 定植前（雑草発生前）；20，30，40ml <10>；土壌処理.	実・継	(実) 〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 ・定植前，雑草発生前. 20〜40ml <10〜16 l>／a. 全面土壌処理. 注）砂土を除く. (継) 薬害（砂土）と効果の確認.
〔Uクレマート普及会（事；住友化学工業）〕		ヤマノイモ	適用性 新規	道南農試，青森畑園，長野野菜花き＊，三重農技セ，鳥取園試＊. (5)	〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 植付後萌芽前（雑草発生前）；20，30，40ml <10>；土壌処理.	継	(継) 効果，薬害の確認.

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
5. SSH−130 粒（コンボラル）〔塩野義製薬〕	トリフルラリン …1.25% ペンディメタリン …1.25%	キャベツ	適用性 継続	植調岩手，千葉東総野菜，長野中信，植調熊本人吉．(4)	〔露地普通（夏秋どり）；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 定植前（植穴掘前，雑草発生前）；400，500，600g；土壌処理．	実・継	(実)〔春〜夏播露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕 ・定植前，雑草発生前．400〜600g／a．全面土壌処理． (継) 薬害について．
6. クロロIPC乳（クロロIPC）〔クロロIPC研究会（事；保土谷化学工業）〕	CI−IPC …45.8%	ゴボウ	適用性 継続	十勝農試．(1)	〔露地普通（早春播きベタガケあり，なし，晩春播きベタガケなし）；一年生雑草全般〕 播種直後（覆土後〜雑草発生前）；50，70，90ml＜7〜10＞；土壌処理．	実・継	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕 ・播種直後．50〜90ml＜7〜10 l ＞／a．土壌処理． (継) 薬害の確認，低薬量での検討．
7. トリフルラリン乳（トレファノサイド）〔塩野義製薬〕	トリフルラリン …44.5%	ゴボウ	適用性 継続	十勝農試．(1)	〔露地普通（早春播きベタガケあり，なし）；一年生雑草全般〕 播種直後（雑草発生前）；20，25，30ml＜30＞；土壌処理．	実・継	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕 ・播種直後．20〜30ml＜10 l ＞／a．全面土壌処理． (継) 薬害の確認．
8. リニュロン 水和（ロロックス）〔デュポン〕	リニュロン ……50%	ゴボウ	作用性 新規	十勝農試．(1)	〔露地普通（早春播きベタガケあり，なし，晩春播きベタガケなし）；一年生雑草全般〕 播種直後；10，15g＜7〜15＞；土壌処理．	−	
9. AK−01 液〔TAC普及会（事；シー・ジー・エス）〕	N−（ホスホノメチル）グリシンのイソプロピルアミン塩 ……41%	キャベツ	適用性 継続	植調岩手，東葉東総野菜，長野中信，三重農技セ，植調熊本人吉．(5)	〔春〜夏播き露地普通；一年生雑草全般 耕起7日以前；25，50ml＜10＞；茎葉処理．	実	(実)〔春〜夏播露地普通；一年生雑草全般〕 ・耕起7日以前，雑草生育期（草丈30cm以下）．25〜50ml＜10 l ＞／a．茎葉処理．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
10. BGX-816 水溶（イルパルス）〔インパルス普及会(事；明治製菓)〕	ビアラホス……8% グリホサート……16%	ヤマノイモ	適用性 継続	青森畑園，長野野菜花き*，鳥取園試*．(3)	〔露地普通；一年生雑草全般〕 萌芽前，雑草生育期；40，50，60 g＜5＞；茎葉処理． 比）プリグロックスL；60 ml＜10＞．	実	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕 ・萌芽前，雑草生育期（草丈20 cm以下）． 40～60 g＜5～10 l ＞／a． 茎葉処理．
11. Hoe－86610液（ハヤブサ）〔ハヤブサ普及会（事；ヘキストジャパン）〕	グルホシネート…8.5%	ハクサイ	適用性 継続	青森畑園，植調岩手，長野野菜花き，(奈良農試)，植調熊本人吉．(5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75 ml＜5＞；茎葉処理． 比）プリグロックスL；60 ml＜10＞．	実	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕 ・定植前，雑草生育期（草丈20 cm以下）． 40～75 ml＜5～10 l ＞／a． 茎葉処理．
		レタス	適用性 新規	岩手高冷地，長野野菜花き，岐阜農総研，兵庫中央農技，植調熊本人吉．(5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75 ml＜5＞；茎葉処理． 比）プリグロックスL；60 ml＜10＞．	継	(継) 効果，薬害の確認．
		タマネギ	適用性 継続	（新潟園試），（愛知農総試），（兵庫淡路），（香川農試），（佐賀白石）．(5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75 ml＜5＞；茎葉処理． 比）プリグロックスL；60 ml＜10＞．	保留	
		スイカ	適用性 継続	石川砂丘，千葉野菜研，鳥取園試，香川三木，（熊本農研セ）．(5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植後（畦間），雑草生育期；40，50，75 ml＜5＞；茎葉処理． 比）プリグロックスL；60 ml＜10＞．	実	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕 ・定植後（畦間），雑草生育期（草丈20cm以下）． 40～75 ml＜5～10 l ＞／a． 茎葉処理．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計 〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
11. Hoe－86610液（つづき）〔ハヤブサ普及会（事；ヘキストジャパン）〕		カボチャ	適用性 新規	青森農試，千葉野菜研，宮崎総農試，鹿児島農試. (4)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75ml＜5＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.
		ピーマン	適用性 新規	岩手南部，新潟園試，長野中信，広島農技セ，宮崎畑園. (5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75ml＜5＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.
		イチゴ	適用性 新規	岐阜農総研，島根農試，香川三木，（佐賀白石），長崎農林試*. (5)	〔一任；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；40，50，75ml＜5＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.
		ニンジン	適用性 新規	青森畑園，（千葉北総），（愛知農総研），香川三木，長崎農林試. (5)	〔一任；一年生雑草全般〕 播種前，雑草生育期；40，50，75ml＜5＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.
12. MW－851液（ハービー）〔明治製菓〕	ビアラホス……18%	レタス	適用性 新規	岩手高冷地，岐阜農総研，香川農試*. (3)	〔露地普通；一年生雑草全般〕 定植前，雑草生育期；30，40，50ml＜10～15＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10～15＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.
		ホウレンソウ	適用性 新規	岩手高冷地，植調研，奈良農試，福岡農総試. (4)	〔露地普通；一年生雑草全般〕 耕起前または播種前，雑草生育期；30，40，50ml＜10～15＞；茎葉処理. 比）プリグロックスL；60ml＜10～15＞.	継	(継) 効果，薬害の確認.

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
12. MW−851 液（つづき）〔明治製菓〕					〔露地普通；一年生雑草全般〕播種後（畦間），雑草生育期；40，50，60ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．		
		タマネギ	適用性 継続	（岐阜農総研），（兵庫淡路），（佐賀白石）．(3)	〔露地普通；一年生雑草全般〕定植前，雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．	保留	
					〔露地普通；一年生雑草全般〕定植後（畦間），雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．		
		スイカ	適用性 継続	青森農試，鳥取園試，（熊本農研セ）．(3)	〔露地普通；一年生雑草全般〕定植後（畦間），雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．	実	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕・定植後（畦間），雑草生育期（草丈20cm以下）．30〜50ml＜10〜15 l ＞／a．茎葉処理．
		ナス	適用性 新規	新潟園試，栃木農試，長野南信，愛知農総試．(4)	〔露地普通；一年生雑草全般〕耕起前または定植前7日以前，雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．	継	(継) 効果，薬害の確認．
		イチゴ	適用性 継続	栃木栃木，島根農試，長崎農林試*．(3)	〔露地普通（親株床）；一年生雑草全般〕定植前，雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．	(実)	(実)〔露地普通；一年生雑草全般〕・定植前．・定植後（畦間），雑草生育期（草丈20cm以下）．30〜50ml＜10〜15 l ＞／a．茎葉処理．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計 〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
12. MW−851 液（つづき）〔明治製菓〕					〔露地普通；一年生雑草全般〕 定植後（畦間），雑草生育期；30，40，50ml＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；60ml＜10〜15＞．		

B．平成4年度　春夏作未提出分（野菜関係除草剤）

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計 〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. BJL−861 微粒（ダゾメットガスタード）〔ビーエーエスエフジャパン〕	ダゾメット……98%	ネギ	適用性 継続	千葉野菜研．(1)	〔苗床；一年生雑草全般〕 播種20日前；1,000，2,000，3,000g；土壌混和処理．	実	・前回判定済．

C．平成5年度　春夏作未提出分（野菜関係除草剤）

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計 〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. S−28 乳（クレマート）〔住友化学工業〕	ブタミホス……50%	ラッキョウ	作用性 新規	青森砂丘．(1)	〔露地普通；薬害の検討〕 植付後出芽前；40，60，80ml＜10＞；土壌処理．	−	
		ピーマン	適用性 新規	鳥取園試．(1)	〔露地普通；一年生雑草全般（但し，キク科を除く）〕 定植前，雑草発生前；20，40ml＜10＞；土壌処理．	継	・前回判定済．
2. Mon−8794 液（ポラリス）〔ポラリス普及会（事；日本モンサント）〕	グリホサートイソプロピルアミン塩……20%	ヤマノイモ	適用性 継続	鳥取園試*．(1)	〔露地普通；一年生雑草全般〕 植付後萌芽前，雑草生育期；30，40，50ml＜2.5，5＞；茎葉処理．	実	・前回判定済．

＊中間成績

D．平成５年度　秋冬作未提出分（野菜関係除草剤）

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. BAS－3510(Na) Ⓛ液（バサグラン）〔住友化学工業〕	ベンタゾン……40%	ラッキョウ	適用性 継続	青森砂丘．(1)	〔露地普通；一年生広葉雑草〕出芽後，広葉雑草３～６葉期；10，20ml＜10＞；茎葉処理．	実	・前回判定済．

E．野菜関係生育調節剤

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. BA液（ビーエー）〔クミアイ化学工業〕	6－（N－ベンジル）－アミノプリン…３%	アスパラガス	作用性 継続	長野野菜花き*，長野南信，広島農技セ，（香川三木）．(4)	〔露地栽培；連年施用と効果の確認〕無処理区最終収穫予定日の40，30，20，10日前処理（８～10月）；300倍＜10＞；茎葉処理．	－	
			適用性 継続	（岩手園試），長野野菜花き*，長野南信，広島農技セ．(4)	〔露地栽培；萌芽促進効果による増収効果〕無処理区最終収穫予定日の30日前，10日前処理（８～10月）；300倍＜10＞，300，600倍＜20＞；茎葉処理．	実・継	(実)〔グリーン露地普通（夏秋どり）；萌芽促進効果による増収〕・慣行の最終収穫予定日10～30日前．300倍＜10～20 l ＞／a．茎葉処理．注）若茎にかかると奇形になる場合がある．(継) 作型について．
2. CE911液（スペースエージ）〔クロレラ工業〕	クロレラ抽出物…0.26%	イチゴ	作用性 継続	(野菜茶試久留米)，島根農試*，（佐賀農試研）．(3)	〔促成栽培，健苗育成〕鉢上げ活着後～低温暗黒処理前まで；500倍＜10ml／ポット＞，1,000倍＜10ml／ポット＞；茎葉処理（７日反復処理）．1,000倍＜100ml／ポット＞，5,000倍＜100ml／ポット＞；湛水処理３回．	－	
3. JAT－94A乳（グリンナー）〔ジャット〕	ワックス……14% 乳化剤水等……86%	キュウリ	作用性 継続	千葉野菜研，長野南信，香川農試．(3)	〔夏秋栽培；萎凋防止による生育促進効果〕定植～30日間（10日間隔）その後最終収穫予定日まで（20日間隔）；50倍，100倍＜50＞；連続噴霧処理．	－	

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作物; 目的〕（処理時期; 散布薬量＜水量 l ＞／a; 処理方法等）	今回判定	判定内容
4. MT−133 液（純グリーン）〔三井東圧化学〕	パラフィン系化合物 ……38%	ナス	適用性 継続	青森砂丘, 埼玉園試, 長野南信. (3)	〔露地早熟; 接木における萎れ防止, 活着促進〕接木前日; 5, 10, 15倍; 接木前の穂木に対し噴霧器で十分ぬらす様に噴霧.	実・継	(実) 〔接木の萎凋軽減〕 ・接木前日. 10〜15倍＜穂木に十分付着する程度＞. 茎葉処理. (継) 低濃度について.
5. OKY−500 液〔アルム〕	12種類生薬抽質物	ネギ	作用性 新規	茨城農総研. (1)	〔ネギ慣行; 育苗期および本圃での生育促進と良質生産性〕 育苗期＋定植〜収穫期; 500, 1,000倍. 定植〜収穫期; 500, 1,000倍. ※育苗期; 仮植時から10日毎, 希釈液を＜1 l／㎡＞施用. 定植時〜収穫期前; 定植後から10日おいて2回, その後15日おきに希釈液を＜1 l／㎡＞施用.	−	
		トマト	適用性 新規	千葉野菜研, (愛知園研), 島根農試, 岡山農試. (4)	〔促成栽培; 健苗育成, 初期生育促進効果〕 育苗期＋定植〜収穫初期; 500, 1,000倍. 定植〜収穫初期; 500, 1,000倍. ※育苗期; 育苗開始時（鉢上げ）から10日毎, 希釈液を100〜150ml／12cm鉢. 定植時〜収穫初期; 定植直後および10日おいて2回, 希釈液を1 l／㎡株間潅水.	継	(継) 効果の確認.
6. SI−101 粒〔出光興産〕	VA菌根菌製剤	トマト	適用性 継続	山形園試, (新潟園試), 栃木農試, 千葉野菜研, 長野野菜花き, 岡山農試, (熊本農研セ). (7)	〔露地雨よけ栽培; 生長促進〕 苗の仮植時（鉢上げ時); 1g／株; 植穴処理. ポット苗の定植時; 1,3g／株; 植穴処理.	継	(継) 効果の確認.

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
6. SI−101 粒（つづき）〔出光興産〕		ナス	適用性 継続	新潟園試，栃木農試，千葉野菜研，長野野菜花き，長野南信，奈良農試，福岡農総試．(7)	〔露地雨よけ栽培；生長促進〕苗の仮植時（鉢上げ時）；1 g／株；植穴処理．ポット苗の定植時；1，3 g／株；植穴処理．	継	(継) 効果の確認．
7. M−1 〔中埜酢店〕	未公開 植物エキス…3% 酢酸…3%	メロン	作用性 新規	千葉暖地，岐阜南濃．(2)	〔露地またはハウス；発根促進および果実肥大〕育苗時＋定植時．育苗時＋肥大期．育苗時＋定植時＋肥大期．※育苗時処理；鉢上げ後1週間おきに3回，500倍液，50 ml／株．定植時処理；定植時および1週間後に，100倍液，200 ml／株，潅注．肥大期処理；着果後10，17日後に，100倍液，200 ml／株，潅注．	−	

F．花き関係除草剤

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. S−28U 粒（クレマートU）〔クレマート普及会（事；住友化学工業）〕	ブタミホス……3%	花木類	適用性 新規	植調研，埼玉花植木，千葉花植木研，三重農技セ，奈良農試，福岡農総試．(6)	〔露地；一年生雑草全般（但し，キク科，ツユクサを除く）〕植付後，雑草発生前；400，500，600 g；土壌処理．	継	(継) 効果，薬害の確認．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；対象雑草〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
2. MW−851 液（ハービー）〔明治製菓〕	ビアラホス……18%	花木類	適用性 継続	新潟園試，千葉花植木研，奈良農試，福岡農総試．(4)	〔露地；一年生雑草全般〕春〜夏期処理，雑草生育期（草丈20cm以下）；30，40，50ml ＜10〜15＞；茎葉処理．比）プリグロックスL；80ml＜10〜15＞．	実・継	(実)〔露地普通（ボケ，ツツジ，ヒバ，ツバキ，サツキ，イムマキ，キャラブキ等）；一年生雑草全般〕・春〜夏期，雑草生育期（草丈20cm以下）．40〜50ml＜10〜15＞／a．茎葉処理．(継) 低薬量について．

G．花き関係生育調節剤

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. CE911 液（スペースエージ）〔クロレラ工業〕	クロレラ抽出物…0.25%	花き一般	作用性 新規	野菜茶試，熊本農研セ．	〔一任；初期生育促進（健苗育成，活着促進）〕別途協議．	−	
2. TMP−941 液〔トーメン〕	Amino−ethoxy−vinylglicine……15%	花き一般	作用性 新規	野菜茶試，（草木，木本）．(2)	〔一任；矮化剤として利用性の検討〕別途協議．	−	

H．平成5年度　秋冬作未提出分（花き関係生育調節剤）

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所 ( )=中間または試験中 (数)	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. PB−50 粒〔保土谷化学〕	ペニシリウム菌	シクラメン	適用性 新規	栃木農試，長野野菜花き，（長野南信），岐阜農技セ．(4)	〔一任；生育促進，花数増加〕苗床および鉢替え時；2，4g／1l 用土；土壌混和．鉢替え時；4g／1l用土；土壌混和処理．	継	(継) 効果の確認．

＊中間成績

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
2. SI−101 粒 〔出光興産〕	VA菌根菌	シクラメン	適用性 継続	栃木農試，長野野菜花き，岐阜農総セ．(3)	〔11月〜12月播き6号鉢仕上げ；初期生育促進〕播種時；30g／1 l 用土（メトロミックス350）；土壌処理．鉢上げ時；1，2g（植穴処理）；土壌処理．	実・継	(実)〔施設栽培；初期生育促進〕・鉢植時．1〜2g／株．植穴処理．(継) 効果の確認，品種間差について．

I．展　着　剤

薬剤名・剤型（商品名）〔委託者名〕	有効成分および含有率（%）	作物名（品種）	試験の種類 新・継の別	試験実施場所（ ）=中間または試験中（数）	試験設計〔作型；目的〕（処理時期；散布薬量＜水量 l ＞／a；処理方法等）	今回判定	判定内容
1. NSA−11 液（ラビデン3S） 〔日本曹達〕	ポリオキシエチレンアルキルエーテル…8％ ポリオキシエチレン脂肪酸エステル……3％ ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム …1.4％	キク	適用性 新規	植調研，熊本農研セ．(2)	〔一任；植調剤の効力に及ぼす加用の影響，付着性，消泡性の検討〕別途協議．	実	(実) 5,000〜10,000倍で実用性あり．

＊中間成績

新刊
改訂雑草学用語集　日本雑草学会／編集・発行
B5判 234頁 定価7,210円(税込)

雑草を研究する上で必須の文献として高い評価を受けてきた旧版を大幅に改訂。雑草学研究に必要な用語はこれ1冊でこと足りるようにという編集方針のもとに、第I編　学術用語編では現時点で必要な用語、解説用語を新たに選び直した。さらに第II編 雑草名編では新たに100種を追加し、第III編 除草剤名編では新たな薬剤も加え、わが国で登録されたことのある薬剤すべてを網羅した。

呈内容見本
全国農村教育協会　〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)　電話／03-3833-1821 FAX／03-3833-1665

植物化学調節実験法

植物化学調節学会　高橋信孝・編
A5判・468頁・定価5,000円(税別)

植物の化学調節研究はいわゆるモノトリ屋、ブッカケ屋の連携によって初めて可能となるもので、両者の相互理解が必要です。本書はこの研究に役立つよう編集されています。つまり、作物の研究者、技術者が生理活性物質の分離・同定や生物検定法を、化学、薬学の研究者が除草剤、植物調節剤の生物実験法を理解し、実験できるよう平易かつ具体的に解説してあります。

発行　植物化学調節学会
発売　全国農村教育協会
東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
〒213 TEL.03(833)1821 FAX.03(833)1665

新登録除草剤一覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課
平成5年9月1日～平成7年1月31日

（1）移植水稲

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ・ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ粒剤	ｽﾗｯｼｬ粒剤	既登録薬剤と同じ									北興化学工業(株)
ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ・ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ・ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ粒剤	ﾘｰﾄﾞｿﾞﾝ粒剤	既登録薬剤と同じ									(株)ｱｸﾞﾛｽ
ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ・ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ粒剤	ｱｸﾄ1ｷﾛ粒剤	ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ ‥‥0.3% 2-ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｿﾞｰﾙ-2-ｲﾙｵｷｼ-N-ﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ‥‥10.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し近畿以西は減水深1cm/日以下	移植後10日～20日(ノビエ2.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回 ﾒﾌｪﾅｾｯﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	日産化学工業(株)・日本ﾊﾞｲｴﾙｱｸﾞﾛｹﾑ(株)・八洲化学工業(株)・三笠化学工業(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｵﾓﾀﾞｶ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	東北・北陸・関東以西の普通期栽培地帯		移植後5日～15日(ノビエ2.5葉期まで)			
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	関東以西の早期栽培地帯					
ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ・ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞ・ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ粒剤	ｳﾙﾌｪｰｽ1ｷﾛ粒剤75	ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ‥‥0.75% S-(4-ｸﾛﾛﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-N,N-ｼﾞｴﾁﾙﾁｵｶｰﾊﾞﾒｲﾄ‥‥15.0% 2-ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｿﾞｰﾙ-2-ｲﾙｵｷｼ-N-ﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ‥‥4.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5日～15日(ノビエ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾒﾌｪﾅｾｯﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	ｸﾐｱｲ化学工業(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝﾘﾐﾃｯﾄﾞ・日本ﾊﾞｲｴﾙｱｸﾞﾛｹﾑ(株)

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ベンスルフロンメチル・ベンチオカーブ・メフェナセット粒剤	ウルフエース1キロ粒剤51	メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート・・・・0.51% S-(4-クロルベンジル)-N,N-ジエチルチオカーバメイト・・・15.0% 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチルアセトアニリド・・・3.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、クリカワ、ミズガヤツリ、オモダカ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層剥離	関東以西の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5日～10日(ノビエ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数1回 メフェナセットを含む農薬の総使用回数2回以内	クミアイ化学工業(株)・デュポンジャパンリミテッド・日本バイエルアグロケム(株)
					水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、クリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、コウキヤガラ(九州)アオミドロ・藻類による表層剥離	北陸・関東以西の早期栽培地帯		移植後5日～13日(ノビエ2葉期まで)			
ダイムロン・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤	サークD1キロ粒剤51	1-(α,α-ジメチルベンジル)-3-(パラトリル)尿素・・・・4.5% メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート・・・・0.51% 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチルアセトアニリド・・10.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、クリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、オモダカ、クログワイ、セリ、アオミドロ・藻類による表層剥離	北陸・関東以西の普通期及び早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ダイムロンを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数2回以内 メフェナセットを含む農薬の総使用回数2回以内	三共(株)・九州三共(株)・日本バイエルアグロケム(株)・デュポンジャパンリミテッド・クミアイ化学工業(株)
ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤	サーク1キロ粒剤75	メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート・・・・0.75% 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチルアセトアニリド・・10.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、クリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、オモダカ	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～20日(ノビエ2.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数2回以内 メフェナセットを含む農薬の総使用回数2回以内	三共(株)・北海三共(株)・日本バイエルアグロケム(株)・デュポンジャパンリミテッド・クミアイ化学工業(株)
						東北		移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			

新刊 日本原色カメムシ図鑑

友国雅章／監修　安永智秀・高井幹夫・山下　泉・川村　満・川澤哲夫／著
A5判　定価9,300円(税込)

斑点米を引き起こすことでよく知られているカメムシ。本書はその生きた姿を鮮明なカラー写真で紹介した新しいタイプの図鑑。後半には農業害虫としての側面を解説。

全国農村教育協会　〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821　Fax.03-3833-1665

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ﾗｲｻﾞｰ1ｷﾛ粒剤20	ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ ‥‥0.3% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ‥‥6.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日産化学工業(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・石原産業(株)・大塚化学(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｵﾓﾀﾞｶ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	東北・北陸					
						関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯		移植後5～13日(ノビエ2葉期まで)			
ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ﾗｲｻﾞｰ1ｷﾛ粒剤15	ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ ‥‥0.3% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ‥‥4.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	近畿以西の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し九州の砂壌土では減水深1.5 cm/日以下	移植後3～8日(ノビエ1.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日産化学工業(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・石原産業(株)・大塚化学(株)
						近畿以西の早期栽培		移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)			
ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ｺﾞﾙﾎﾞ1ｷﾛ粒剤75	2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ‥‥6.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ‥‥0.75%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	砂壌土～埴土 砂壌土では減水深1.5 cm/日以下 壌土～埴土では減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ1.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	武田薬品工業(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)
						東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)			

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ｺﾞﾙﾎﾞ1ｷﾛ粒剤51	2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ••••6.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ••••0.51%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北陸・関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	武田薬品工業(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)
						近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の普通期及び早期栽培地帯		移植後5～10日(ノビエ1.5葉期まで)			
ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ乳剤	ｼﾝｸﾞ乳剤	0-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ•••12.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ••••8.0%	乳剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道)	全域の普通期及び早期栽培地帯(九州除く)	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し早期栽培は減水深1cm/日以下	植代時～移植4日前まで	500㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	三共(株)・九州三共(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ	九州の普通期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ・ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ粒剤	ｺﾝﾄﾗｸﾄ1ｷﾛ粒剤	S-ﾍﾞﾝｼﾞﾙ=1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ(ｴﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ ••••21.0% ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ ••••0.3%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～20日(ノビエ2.5葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回	日産化学工業(株)・ｾﾞﾈｶ(株)・石原産業(株)・塩野義製薬(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｾﾘ(九州除く)、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｵﾓﾀﾞｶ、ｱｵﾓﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離(東北)	東北・北陸・関東以西の普通期及び早期栽培地帯		移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ水和剤	ｶﾙｼｮｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	O-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・12.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・1.4%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道・東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)	５００㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数１回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数２回以内	三共(株)・北海三共(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)
ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ水和剤	ｶﾙｼｮｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	O-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・12.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・1.0%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北陸	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)	５００㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数１回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数２回以内	三共(株)・九州三共(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)
						関東・東山・東海・近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し早期は1cm/日以下				
						九州の普通期及び早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下				
ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ・ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ｽﾊﾟｰｸｽﾀｰ1ｷﾛ粒剤	S-ﾍﾞﾝｼﾞﾙ=1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ(ｴﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・・15.0% 2-ﾒﾁﾙﾁｵ-4-ｴﾁﾙｱﾐﾉ-6-(1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾉ)-s-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・・0.6% ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾚｰﾄ・・・・0.3% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・4.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後10～20日(ノビエ2.5葉期まで)	１ｋｇ	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数１回 ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数２回以内 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数１回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数２回以内	日産化学工業(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・ｾﾞﾈｶ(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｼｽﾞｲ(東北)、ｾﾘ(九州除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	東北・北陸・関東以西(九州を除く)の早期栽培地帯		移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			
						関東以西(九州を除く)の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
						九州の普通期及び早期栽培	壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾌﾞﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ｿﾙﾈｯﾄ1ｷﾛ粒剤	2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾞﾛﾎﾞｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ••••4.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	北海道・東北・北陸・関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下但し、北海道・東北・北陸では砂壌土減水深1cm/日以下を含む	植代後～移植前4日又は移植直後～移植後5日（ノビエ1葉期まで） 移植後に使用する除草剤との体系で使用する	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾌﾞﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・ｸﾐｱｲ化学工業(株)・武田薬品工業(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ	近畿以西の普通期及び早期栽培地帯					
ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ﾌｼﾞｸﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤75	S-ﾍﾞﾝｼﾞﾙ=1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ(ｴﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ ••••21.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ••••0.75%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ(東北)、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｸﾛｸﾞﾜｲ(東北)、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾓﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～20日（ノビエ2.5葉期まで）	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日本農薬(株)・ｾﾞﾈｶ(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)
						東北		移植後5～15日（ノビエ2.5葉期まで）			
ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ﾌｼﾞｸﾞﾗｽ1ｷﾛ粒剤51	S-ﾍﾞﾝｼﾞﾙ=1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ(ｴﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ ••••21.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ••••0.51%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北陸及び関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日（ノビエ2.5葉期まで）	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日本農薬(株)・ｾﾞﾈｶ(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)
						近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯及び九州の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

芝生の造成と管理 —芝草管理者のために—

眞木芳助／編集
B5判　定価20,000円（税込）

環境保全のための資源として芝生の需要が増している。本書は芝生の造成から管理にいたる芝生づくりのすべてをゴルフ場の例を中心に分かりやすく解説。

全国農村教育協会　〒110 東京都台東区台東1-26-6（植調会館）
Tel.03-3833-1821　Fax.03-3833-1665

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ・ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ・ﾀﾞｲﾑﾛﾝ粒剤	ｺﾞｰｻｲﾝ粒剤	1-(2-ｸﾛﾛｲﾐﾀﾞｿﾞ[1,2-a]ﾋﾟﾘｼﾞﾝ-3-ｲﾙｽﾙﾎﾆﾙ)-3-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙ)尿素・・・・0.3% S-ﾍﾞﾝｼﾞﾙ=1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ(ｴﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・・7.0% 1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾊﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素・・・・5.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道、東北)ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ(九州を除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し砂壌土では減水深1.5 cm/日以下	移植後10～15日(ノビエ2.5葉期まで)	3 kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内	武田薬品工業(株)・ｾﾞﾈｶ(株)・(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ・大塚化学(株)・(株)ｱｸﾞﾛｽ
						東北・北陸	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			
						関東・東山・東海・九州の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下				
						関東・東山・東海・九州の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ・ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ・ﾀﾞｲﾑﾛﾝ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ﾊﾔﾃ粒剤	1-(2-ｸﾛﾛｲﾐﾀﾞｿﾞ[1,2-a]ﾋﾟﾘｼﾞﾝ-3-ｲﾙｽﾙﾎﾆﾙ)-3-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙ)尿素・・・・0.3% 2-ﾒﾁﾙﾁｵ-4-ｴﾁﾙｱﾐﾉ-6-(1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾉ)-s-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・・0.2% 1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾊﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素・・・・5.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・1.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道、東北、北陸)、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道東北・北陸	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)	3 kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	武田薬品工業(株)・(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・(株)ﾄﾓﾉｱｸﾞﾘｶ・明治製菓(株)
						関東・東山・東海・九州の早期及び近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						関東・東山・東海・九州の普通期及び近畿・中国・四国の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ・ﾀﾞｲﾑﾛﾝ・ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ粒剤	ﾊﾞﾄﾙ粒剤	1-(2-ｸﾛﾛｲﾐﾀﾞｿﾞ[1,2-a]ﾋﾟﾘｼﾞﾝ-3-ｲﾙｽﾙﾎﾆﾙ)-3-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙ)尿素・・・・0.3% 1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾊﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素・・・・5.0% 2-ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｿﾞｰﾙ-2-ｲﾙｵｷｼ-N-ﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・3.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ｵﾓﾀﾀﾞﾓｲ、ｸﾘｶｻﾂﾘ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道)、ﾋﾒﾑｼﾛ、ｾﾘ(九州除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離(東北・北陸を除く)	北海道	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し砂壌土では減水深1.5cm/日以下	移植後10～20日(ノビエ2.5葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾒﾌｪﾅｾｯﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	武田薬品工業(株)・(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ・日本ﾊﾞｲｴﾙｱｸﾞﾛｹﾑ(株)・北興化学工業(株)
						東北・北陸	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			
						関東・東山・東海・近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下				
						関東・東山・東海・近畿・中国・四国の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の普通期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

新刊 日本原色植物ダニ図鑑
江原昭三／編集
A5判　定価13,000円(税込)
微少で判別の困難な代表種といえる植物ダニ。本書は代表種88種をカラー写真と形態図・記載により解説した判別図鑑。農業上被害の大きいハダニについては、別項を設け解説。
全国農村教育協会　〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821　Fax.03-3833-1665

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ・ﾀﾞｲﾑﾛﾝ・ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ水和剤	ｱﾜｰﾄﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ	1-(2-ｸﾛﾛｲﾐﾀﾞｿﾞ[1,2-a]ﾋﾟﾘｼﾞﾝ-3-ｲﾙｽﾙﾎﾆﾙ)-3-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙ)尿素・・・・1.7% 1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾊﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素・・・27.5% 0-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・12.0%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道、東北、北陸)、ｵﾓﾀﾞｶ(関東、東山、東海)、ﾋﾙﾑｼﾛ(北海道、東北、関東、東山、東海)、ｾﾘ(九州を除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離(北海道)	北海道・東北・北陸・関東・東山・東海の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植直後～移植後10日(ノビエ1.5葉期まで)	500㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回	武田薬品工業(株)・(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ
						近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下				
						近畿・中国・四国の早期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下				
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ水和剤	ｸｻﾒｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ	2-ｸﾛﾛ-N-(3-ﾒﾄｷｼ-2-ﾃﾆﾙ)-2',6'-ｼﾞﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・5.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・1.4%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ(東北)、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｸﾛｸﾞﾜｲ(東北)、ｵﾓﾀﾞｶ(東北)、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ(東北)、藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～13日(ノビエ1.5葉期まで)	500㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	北興化学工業(株)・日本農薬(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)・徳山曹達(株)
						東北	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)			

水田雑草の生態と防除 —水稲作の雑草と除草剤解説—

宮原益次／著
A5判　定価3,090円(税込)

水田雑草の発生特性、雑草害について著者40年の知見を網羅。さらに水田における合理的で省力的・低コストの雑草防除について解説。

全国農村教育協会　〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821　Fax.03-3833-1665

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ水和剤	ｸｻﾒｯﾌﾟﾚﾌﾛｱﾌﾞﾙ	2-ｸﾛﾛ-N-(3-ﾒﾄｷｼ-2-ﾃﾆﾙ)-2',6'-ｼﾞﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・5.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・1.0%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ(関東、東山、東海、九州の普通期栽培地帯)、ｵﾓﾀﾞｶ(北陸)、ｾﾘ(九州除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離(関東、東山、東海の普通期栽培地帯)	北陸	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	５００㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数２回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数２回以内	北興化学工業(株)・日本農薬(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)・徳山曹達(株)
						関東・東山・東海の普通期栽培地帯		移植後5～10日(ノビエ1.5葉期まで)			
						関東・東山・東海の早期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下	移植後5～13日(ノビエ2葉期まで)			
						近畿・中国・四国の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下				
ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽ・ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ水和剤	ﾚﾄﾘｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ	5-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ)-2-ﾆﾄﾛ安息香酸ﾒﾁﾙ・・・1.0% 0-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・10.0% (RS)-2-ﾌﾞﾛﾓ-N-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾁﾙｱﾐﾄﾞ・・12.0%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ	北海道・東北・北陸・関東以西(九州除く)の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植直後～10日(ノビエ1.5葉期まで)	５００㎖	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽを含む農薬の総使用回数２回以内 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数１回 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞを含む農薬の総使用回数１回	大日本ｲﾝｷ化学工業(株)・(株)ｱｸﾞﾛｽ・日産化学工業(株)・北興化学工業(株)・ﾛｰﾇ・ﾌﾟｰﾗﾝ ｱｸﾞﾛ(株)
						九州の普通期栽培地帯及び近畿以西の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｼﾝﾒﾁﾘﾝ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ｱｰｺﾞｰﾙﾄﾞS粒剤	(1RS,2SR,4SR)-1,4-ｴﾎﾟｷｼ-p-ﾒﾝﾀﾞ-2-ｲﾙ=2-ﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ=ｴｰﾃﾙ ••••0.2% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ••••0.25%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ1.5葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｼﾝﾒﾁﾘﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)
						東北		移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)			
ｼﾝﾒﾁﾘﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ粒剤	ﾉｸｻｰﾙ粒剤	(1RS,2SR,4SR)-1,4-ｴﾎﾟｷｼ-p-ﾒﾝﾀﾞ-2-ｲﾙ=2-ﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ=ｴｰﾃﾙ ••••0.2% ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾚｰﾄ ••••0.07%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道、東北、北陸)、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離(北海道)	北海道・東北・北陸・関東・東山・東海の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｼﾝﾒﾁﾘﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回	日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)・日産化学工業(株)・塩野義製薬(株)
						近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						九州の普通期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下	移植後5～10日(ノビエ1.5葉期まで)			
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	近畿・中国・四国の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)			
ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄ粒剤	ｻﾞｰﾍﾞｯｸｽ粒剤	2,3-ｼﾞﾋﾄﾞﾛ-3,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｿﾞﾌﾗﾝ-5-ｲﾙ=ｴﾀﾝｽﾙﾎﾅｰﾄ••••1.8%	粒剤	移植水稲	ｸﾛｸﾞﾜｲ	東北・関東以西の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下	発生始期	3kg	湛水散布 本剤及びﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ｼｪｰﾘﾝｸﾞ(株)
						九州の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
シメトリン・ベンフレセート・MCPB粒剤	ザーベックスSM粒剤	2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s-トリアジン・・・・1.5% 2,3-ジヒドロ-3,3-ジメチルベンゾフラン-5-イル=エタンスルホナート・・・・2.0% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル・・・・0.8%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、エゾノサヤヌカグサ	北海道	砂壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下	移植後20～25日(ノビエ2.5葉期まで移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 シメトリンを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンフレセートを含む農薬の総使用回数2回以内 MCPBエチルをを含む農薬の総使用回数2回以内	日本シェーリング(株)
					水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ、シズイ(東北)	東北・北陸	壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下				
					水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、オモダカ、クログワイ	関東・東山・東海の早期及び普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後20～25日(ノビエ2葉期まで移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する)			
ジメピペレート・ベンスルフロンメチル・ベンフレセート粒剤	レインジャー粒剤25	S-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート・・・・5.0% メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート・・・・0.25% 2,3-ジヒドロ-3,3-ジメチルベンゾフラン-5-イル=エタンスルホナート・・・・1.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、クログワイ(東北)、アオミドロ・藻類による表層剥離、エゾノサヤヌカグサ(北海道)	北海道	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後10～20日(ノビエ2.5葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ジメピペレートを含む農薬の総使用回数1回 ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンフレセートを含む農薬の総使用回数2回以内	日本シェーリング(株)・北興化学工業(株)・デュポン(株)・ローヌ・プーラン油化アグロ(株)
						東北		移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)			

植調協会だより

◎ 会議開催日程のお知らせ ・平成7年度農薬(作物・土壌・水中)残留分析委員会予定表

開催月日	委員会名	会場
平成7年4月19日(水)	第1回 水中	日植防会議室
20日(木)	第1回 作物	日植防会議室
6月6日(火)	第1回 土壌	日植調会議室
8日(木)	第2回 作物	日植調会議室
7月20日(木)	第3回 作物	日植防会議室
9月19日(火)	第2回 土壌	日植防会議室
21日(木)	第4回 作物	日植防会議室
10月18日(水)	第2回 水中	日植調会議室

開催月日	委員会名	会場
平成7年11月16日(木)	第5回 作物	日植調会議室
12月21日(木)	第6回 作物	日植調会議室
	第3回 土壌	日植調会議室
平成8年2月14日(水)	第3回 水中	日植防会議室
15日(木)	第7回 作物	日植防会議室
3月5日(火)	第4回 土壌	日植防会議室
7日(木)	第8回 作物	日植防会議室

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ジメピペレート・ベンスルフロンメチル・ベンフレセート粒剤	レインジャー粒剤17	S-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート・・・・5.0% メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート・・・・0.17% 2,3-ジヒドロ-3,3-ジメチルベンゾフラン-5-イル=エタンスルホナート・・・・1.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ(北陸を除く)、セリ、アオミドロ・藻類による表層剥離	北陸・関東以西の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2.5葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ジメピペレートを含む農薬の総使用回数1回 ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンフレセートを含む農薬の総使用回数2回以内	日本シェーリング(株)・北興化学工業(株)・デュポン(株)・ローヌ・プーラン油化アグロ(株)
					水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、クログワイ(九州を除く)、セリ(九州を除く)、アオミドロ・藻類による表層剥離	関東以西の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 砂壌土は減水深1.5cm/日以下				
ジメタメトリン・ピラゾレート・プレチラクロール・ベンフレセート粒剤	ウリホス粒剤15	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメチルプロピルアミノ)-s-トリアジン・・・・0.2% 4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル-p-トルエンスルホネート・・・・8.0% 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド・・・・1.5% 2,3-ジヒドロ-3,3-ジメチルベンゾフラン-5-イル=エタンスルホナート・・・・1.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、エゾノサヤヌカグサ、アオミドロ・藻類による表層剥離	北海道	壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数2回以内 ピラゾレートを含む農薬の総使用回数1回 プレチラクロールを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンフレセートを含む農薬の総使用回数2回以内	日本シェーリング(株)・三共(株)・北海三共(株)

植調協会だより

◎人事異動

・平成7年2月1日付

任	事務局	主事	畑本佳美
任	事務局	主事	黒澤尚子
命	事務局技術部長代理		山﨑和己
命	事務局技術部技術第二課長		立野篤男
命	研究所特別研究チーム長		横山昌雄

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄ粒剤	ｳﾘﾎｽ粒剤10	2-ﾒﾁﾙﾁｵ-4-ｴﾁﾙｱﾐﾉ-6-(1,2-ｼﾞﾒﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾉ)-s-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・・0.2% 4-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｿﾞｲﾙ)-1,3-ｼﾞﾒﾁﾙ-5-ﾋﾟﾗｿﾞﾘﾙ-p-ﾄﾙｴﾝｽﾙﾎﾈｰﾄ・・・・4.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・1.5% 2,3-ｼﾞﾋﾄﾞﾛ-3,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｿﾞﾌﾗﾝ-5-ｲﾙ=ｴﾀﾝｽﾙﾎﾈｰﾄ・・・・1.0%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	東北・北陸・関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ2葉期まで)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ｼｪｰﾘﾝｸﾞ(株)・三共(株)・九州三共(株)
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ(九州除く)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	近畿以西の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下				
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～20日(ノビエ2葉期まで移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する)			
ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ・ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄ粒剤	ｲﾈｾﾞｯﾄ粒剤	ｴﾁﾙ=5-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-1-ﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-4-ｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ・・・・0.1% 2,3-ｼﾞﾋﾄﾞﾛ-3,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｿﾞﾌﾗﾝ-5-ｲﾙ=ｴﾀﾝｽﾙﾎﾈｰﾄ・・・・1.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草(ｲﾈ科を除く)及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(東北、北陸)、ﾋﾙﾑｼﾛ(近畿以西除く)、ｸﾛｸﾞﾜｲ、ｵﾓﾀﾞｶ	東北・北陸・関東以西の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後12～20日 (移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)	3kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ｼｪｰﾘﾝｸﾞ(株)・日産化学工業(株)
					水田一年生雑草(ｲﾈ科を除く)及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ(近畿以西を除く)	関東以西の早期栽培地帯					
ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ・ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ粒剤	ｻﾘｵ粒剤	既登録薬剤に同じ									(株)ｱｸﾞﾛｽ

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟ水和剤	ﾕﾆﾊｰﾌﾟﾛﾌﾟﾙ	2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ ••••5.0% 2-[4-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛ-m-ﾄﾙｵｲﾙ)-1,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙｵｷｼ]-4'-ﾒﾁﾙｱｾﾄﾌｪﾉﾝ ••••20.0%	水和剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(北海道、東北)	北海道・東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	植代時～移植前4日まで	５００～７５０ml	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数２回以内 ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟを含む農薬の総使用回数１回	ﾛｰﾇ・ﾌﾟｰﾗﾝ油化ｱｸﾞﾛ(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・北興化学工業(株)
						北陸・関東以西の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
						北海道・東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植直後			
						北陸・関東以西の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
ACN剤	ﾓｹﾞﾄﾝｼﾞｬﾝﾎﾟ	2-ｱﾐﾉ-3-ｸﾛﾛ-1,4-ﾅﾌﾄｷﾉﾝ••9.0%		移植水稲	ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道・東北・北陸・関東以西の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	ｱｵﾐﾄﾞﾛ・表層剥離の発生時但し収穫90日前まで	２０個（１ｋｇ）	水田に投げ入れる 本剤及びACNを含む農薬の総使用回数１回	ｱｸﾞﾛ・ｶﾈｼｮｳ(株)
ﾀﾞｲﾑﾛﾝ・ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ剤	ｸｻﾄﾘｰｼﾞｬﾝﾎﾟ	1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾍﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素••••6.0% 0-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ••••7.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ ••••0.75%		移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ	北海道	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し砂壌土では減水深1.5cm/日以下	移植後3～10日（ノビエ1.5葉期まで）	小包装（ﾊﾟｯｸ）20個(1kg)	水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる 本剤のみを使用する場合の使用回数１回 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数２回以内 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数１回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数２回以内	三共(株)・大日本ｲﾝｷ化学工業(株)
						東北	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾀﾞｲﾑﾛﾝ・ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ剤	ｸｻﾄﾘｰLｼﾞｬﾝﾎﾞ	1-(α,α-ｼﾞﾒﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-3-(ﾍﾟﾗﾄﾘﾙ)尿素・・・・4.5% O-3-tert-ﾌﾞﾁﾙﾌｪﾆﾙ=6-ﾒﾄｷｼ-2-ﾋﾟﾘｼﾞﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾁｵｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・・6.0% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・0.51%		移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ	北陸	壌土～埴土 減水深1.5 cm/日以下	移植後3～10日(ノビエ1.5葉期まで)	小包装(パック)20個(1kg)	水田に小包装(ﾊﾟｯｸ)のまま投げ入れる 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾀﾞｲﾑﾛﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾟﾘﾌﾞﾁｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	三共(株)・九州三共(株)・大日本ｲﾝｷ化学工業(株)
						関東以西の普通期及び関東・東山・東海の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し早期栽培では減水深1cm/日以下				
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽ乳剤	ﾌﾟﾚｶｯﾄ乳剤	2-ｸﾛﾛ-N-(3-ﾒﾄｷｼ-2-ﾃﾆﾙ)-2',6'-ｼﾞﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・5.0% 5-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ)-2-ﾆﾄﾛ安息香酸ﾒﾁﾙ・・15.0%	乳剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ	北海道・東北・関東以西の普通期及び早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	植代時～移植4日前まで	500mℓ	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽを含む農薬の総使用回数2回以内	北興化学工業(株)・ﾛｰﾇ・ﾌﾟｰﾗﾝ油化ｱｸﾞﾛ(株)・(株)ﾄｸﾔﾏ
						北陸	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ｸｻﾒｯﾌﾟ1ｷﾛ粒剤75	2-ｸﾛﾛ-N-(3-ﾒﾄｷｼ-2-ﾃﾆﾙ)-2',6'-ｼﾞﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・2.7% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・0.75%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｾﾘ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道・東北	壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	北興化学工業(株)・日本農薬(株)・(株)ﾄｸﾔﾏ
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤	ｸｻﾒｯﾌﾟ1ｷﾛ粒剤51	2-ｸﾛﾛ-N-(3-ﾒﾄｷｼ-2-ﾃﾆﾙ)-2',6'-ｼﾞﾒﾁﾙｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・・2.7% ﾒﾁﾙ=α-(4,6-ｼﾞﾒﾄｷｼﾋﾟﾘﾐｼﾞﾝ-2-ｲﾙｶﾙﾊﾞﾓｲﾙｽﾙﾌｧﾓｲﾙ)-o-ﾄﾙｱｰﾄ・・・・0.51%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北陸	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植後5～15日(ノビエ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	北興化学工業(株)・日本農薬(株)・(株)ﾄｸﾔﾏ
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｸﾘｶﾜ、ｾﾘ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	関東・東山・東海の普通期栽培地帯	壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	関東・東山・東海の早期栽培地帯					

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ・ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ粒剤つづき	ｸｻﾒｯﾌﾟ1ｷﾛ粒剤51つづき				水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ｾﾘ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾋﾙﾑｼﾛ	近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯					
					水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ｳﾘｶﾜ	九州の普通期栽培地帯	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ乳剤	ﾌﾟﾛｰﾀﾞｯｸｽ乳剤	5-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ)-2-ﾆﾄﾛ安息香酸ﾒﾁﾙ・・20.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・8.0%	乳剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	全域	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	植代時～移植4日前まで	500mℓ	原液湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾋﾞﾌｪﾉｯｸｽを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)・ﾛｰﾇ・ﾌﾟｰﾗﾝ油化ｱｸﾞﾛ(株)・日産化学工業(株)・北興化学工業(株)
ｼﾒﾄﾘﾝﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞｷｼﾌｪﾝ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ﾜﾝｵｰﾙS1ｷﾛ粒剤24	2-ﾒﾁﾙﾁｵ-4,6-ﾋﾞｽ(ｴﾁﾙｱﾐﾉ)-S-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・1.5% 2-[4-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｿﾞｲﾙ)-1,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙｵｷｼ]ｱｾﾄﾌｪﾉﾝ・・・24.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・4.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ、ﾋﾙﾑｼﾛ、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	北海道	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下 但し砂壌土は減水深1.5cm/日以下	移植直後～移植後15日(ﾉﾋﾞｴ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｼﾒﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾟﾗｿﾞｷｼﾌｪﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	石原産業(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)
ｼﾒﾄﾘﾝﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞｷｼﾌｪﾝ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤	ﾜﾝｵｰﾙS1ｷﾛ粒剤	2-ﾒﾁﾙﾁｵ-4,6-ﾋﾞｽ(ｴﾁﾙｱﾐﾉ)-S-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・1.5% 2-[4-(2,4-ｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｿﾞｲﾙ)-1,3-ｼﾞﾒﾁﾙﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙｵｷｼ]ｱｾﾄﾌｪﾉﾝ・・・18.0% 2-ｸﾛﾛ-2',6'-ｼﾞｴﾁﾙ-N-(2-ﾌﾟﾛﾎﾟｷｼｴﾁﾙ)ｱｾﾄｱﾆﾘﾄﾞ・・・4.5%	粒剤	移植水稲	水田一年生雑草及びﾏﾂﾊﾞｲ、ﾎﾀﾙｲ、ｳﾘｶﾜ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ、ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ(東北)、ﾋﾙﾑｼﾛ(東北、近畿・中国・四国の早期)、ｱｵﾐﾄﾞﾛ・藻類による表層剥離	東北	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下	移植直後～移植後13日(ﾉﾋﾞｴ2葉期まで)	1kg	湛水散布 本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｼﾒﾄﾘﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾋﾟﾗｿﾞｷｼﾌｪﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	石原産業(株)・日本ﾁﾊﾞｶﾞｲｷﾞｰ(株)
						北陸	埴壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						関東・東山・東海の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深2cm/日以下				
						関東・東山・東海の早期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下 但し砂壌土は減水深1cm/日以下				

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｼﾒﾄﾘﾝﾝ・ﾋﾟﾗｿﾞｷｼﾌｪﾝ・ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ粒剤つづき	ﾜﾝｵｰﾙS1キロ粒剤つづき					近畿・中国・四国の早期栽培地帯	壌土～埴土 減水深1cm/日以下				
						近畿・中国・四国、九州の普通期栽培地帯	砂壌土～埴土 減水深1.5cm/日以下				

（2）水田耕起前・水田畦畔・休耕田・水稲刈後・畑作・野菜作・永年生作物・非農耕地対象

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ｲﾏｻﾞﾋﾟﾙ・ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄ液剤	ｾﾞﾛｸﾞﾗｽ液剤	ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=(RS)-2-(4-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙ-4-ﾒﾁﾙ-5-ｵｷｿ-2-ｲﾐﾀﾞｿﾞﾘﾝ-2-ｲﾙ)ﾆｺﾁﾅｰﾄ‥‥12.5% ｱﾝﾓﾆｳﾑ=DL-ﾎﾓｱﾗﾆﾝ-4-ｲﾙ(ﾒﾁﾙ)ﾎｽﾌｨﾅｰﾄ‥‥9.0%	液剤	鉄道・工場敷地・公園・堤とう・道路・運動場・宅地等	一年生雑草及び多年生雑草			雑草生育期	800～1200 mℓ 〔希釈水量 100～150 ℓ〕	雑草茎葉散布 〔本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｲﾏｻﾞﾋﾟﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄを含む農薬の総使用回数3回以内〕	日産化学工業(株)
ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ・ﾘﾆｭﾛﾝ粉粒剤	ｶｲﾀｯｸ細粒剤F	N-(1-ｴﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ)-3,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2,6-ｼﾞﾆﾄﾛｱﾆﾘﾝ‥‥1.5% 3-(3,4-ｼﾞｸﾛﾙﾌｪﾆﾙ)-1-ﾒﾄｷｼ-1-ﾒﾁﾙ尿素‥‥1.0%	粉粒剤	小麦	畑地一年生雑草	関東以西	砂壌土～埴土	播種直後(雑草発生前)	5～6kg	全面土壌散布 〔本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾘﾆｭﾛﾝを含む農薬の総使用回数1回〕	日本農薬(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ ｼﾞｬﾊﾟﾝ ﾘﾐﾃｯﾄﾞ・日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)
DCMU粉粒剤	ｸｻｳﾛﾝ微粒剤	既登録薬剤に同じ									(株)ｱｸﾞﾛｽ
DCBN水和剤	ﾍﾞﾝﾎﾞｰﾙ水和剤・ｸﾞﾗｽﾀﾞﾝ水和剤	2,6-ｼﾞｸﾛﾛﾁｵﾍﾞﾝｻﾞﾐﾄﾞ‥‥50.0%	水和剤	日本芝	ﾋﾒｸｸﾞｽｷﾞﾅ			芝生育期(雑草生育初期～生育期)	1～2kg 〔希釈水量 150～200 ℓ〕	散布 〔本剤及びDCBNを含む農薬の総使用回数1回〕	保土谷化学工業(株)・北興産業(株)
				公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・鉄道等	ｽｷﾞﾅ			雑草生育初期～生育期		散布 〔本剤及びDCBNを含む農薬の総使用回数3回以内〕	
DCBN粒剤	ﾍﾞﾝﾎﾞｰﾙ粒剤・ｼﾊﾞｷｰﾌﾞ粒剤	2,6-ｼﾞｸﾛﾛﾁｵﾍﾞﾝｻﾞﾐﾄﾞ‥‥4.0%	粒剤	日本芝	ﾋﾒｸｸﾞｽｷﾞﾅ			芝生育期(雑草生育初期～生育期)	10～20kg	全面均一散布 〔本剤及びDCBNを含む農薬の総使用回数1回〕	保土谷化学工業(株)・ﾀｹﾀﾞ園芸(株)・ﾚｲﾝﾎﾞｰ薬品(株)
				公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・鉄道等	ｽｷﾞﾅ			雑草生育初期～生育期		全面均一散布 〔本剤及びDCBNを含む農薬の総使用回数3回以内〕	

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾋﾟﾘﾃﾞｰﾄ水和剤	ﾋﾛｸﾞﾗｽ水和剤	既登録薬剤に同じ									ｱｸﾞﾛﾘﾝｸﾞｱｸﾞﾗｰﾍﾐｶﾘｰﾝｹﾞｰ・ｴﾑ・ﾍﾞｰ・ﾊｰ
ｶﾙﾌﾞﾁﾚｰﾄ・MDBA粒剤	ﾂｲﾝｶﾑ	3-(3,3-ｼﾞﾒﾁﾙｳﾚｲﾄﾞ)ﾌｪﾆﾙ=ﾀｰｼｬﾘｰﾌﾞﾁﾙｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・・4.0% 2-ﾒﾄｷｼ-3,6-ｼﾞｸﾛﾛ安息香酸・・・・1.5%	粒剤	公園・堤とう・駐車場・道路・運動場・のり面・宅地・鉄道等	一年生雑草			雑草生育初期	15～25 kg	全面均一散布 本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｶﾙﾌﾞﾁﾚｰﾄを含む農薬の総使用回数2回以内 MDBAを含む農薬の総使用回数3回以内	(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ
ｱﾄﾗｼﾞﾝ・ﾃﾄﾗﾋﾞｵﾝ・DCMU・DPA粒剤	ﾄﾓｽﾊﾟｰｸZ粒剤・ﾉｰﾀｯﾁ粒剤・ﾋﾞｯｸｱｯﾌﾟ180粒剤W・ｸｻﾉﾝPP粒剤・ｽｰﾊﾟｰｾﾞｽﾄ粒剤-S	2-ｸﾛﾛ-4-ｴﾁﾙｱﾐﾉ-6-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾉ-s-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・・4.0% 2,2,3,3-ﾃﾄﾗﾌﾙｵﾛﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ・・・・1.5% 2-(3,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ-1,1-ｼﾞﾒﾁﾙ尿素・・・・6.0% 2,2-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ・・・・10.0%	粒剤	公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・鉄道等	一年生及び多年生雑草			雑草発生前～生育初期(草丈30cm以下)	8～10 kg	全面均一散布 本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｱﾄﾗｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾃﾄﾗﾋﾞｵﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 DCMUを含む農薬の総使用回数3回以内 DPAを含む農薬の総使用回数3回以内	保土谷化学工業(株)・(株)ﾄﾓﾉｱｸﾞﾘｶ・ﾌﾏｷﾗｰ(株)・武田薬品工業(株)・大阪化成(株)
ﾒﾄｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ水和剤	ｻｰﾍﾞﾙDF	ﾒﾁﾙ=2-[3-(4-ﾒﾄｷｼ-6-ﾒﾁﾙ-1,3,5-ﾄﾘｱｼﾞﾝ-2-ｲﾙ)ｳﾚｲﾄﾞｽﾙﾎﾆﾙ]ﾍﾞﾝｿﾞｴｰﾄ・・・60.0%	水和剤	日本芝	一年生及び多年生広葉雑草			春期～夏期 芝生育期(雑草発生始期～生育初期)	1～2 g 希釈液量150～200 ℓ	雑草茎葉散布 本剤及びﾒﾄｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙを含む農薬の総使用回数2回以内	ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)・丸和ﾊﾞｲｵｹﾐｶﾙ(株)
								秋期～冬期 (雑草発生始期～生育初期)	2～4 g 希釈液量150～200 ℓ		
ｶﾙﾌﾞﾁﾚｰﾄ・MDBA水和剤	ﾂｲﾝｶﾑﾌﾛｱﾌﾞﾙ	3-(3,3-ｼﾞﾒﾁﾙｳﾚｲﾄﾞ)ﾌｪﾆﾙ=ﾀｰｼｬﾘｰﾌﾞﾁﾙｶﾙﾊﾞﾏｰﾄ・・・・43.0% 2-ﾒﾄｷｼ-3,6-ｼﾞｸﾛﾛ安息香酸ｼﾞﾒﾁﾙｱﾐﾝ・・・・8.5%	水和剤	公園・堤とう・駐車場・道路・運動場・のり面・宅地・鉄道等	一年生及び多年生雑草			雑草生育初期	1～2 ℓ 希釈水量100 ℓ	全面均一散布 本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｶﾙﾌﾞﾁﾚｰﾄを含む農薬の総使用回数2回以内 MDBAを含む農薬の総使用回数3回以内	(株)ｴｽ・ﾃﾞｨｰ・ｴｽﾊﾞｲｵﾃｯｸ

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞ・ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ・ﾘﾆｭﾛﾝ乳剤	ｸﾘｱﾀｰﾝ乳剤	S-(4-ｸﾛﾛﾍﾞﾝｼﾞﾙ)-N,N-ｼﾞｴﾁﾙﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ・・・50.0% N-(1-ｴﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ)-3,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2,6-ｼﾞﾆﾄﾛｱﾆﾘﾝ・・・・5.0% 3-(3,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-1-ﾒﾄｷｼ-1-ﾒﾁﾙ尿素・・・・7.5%	乳剤	だいず	畑地一年生雑草	北海道を除く全域	全土壌(砂土除く)	播種直後(雑草発生前)	600～800 mℓ 〔希釈水量 70～100 ℓ〕	全面土壌散布 〔本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞを含む農薬の総使用回数1回 ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝを含む農薬の総使用回数1回 ﾘﾆｭﾛﾝを含む農薬の総使用回数1回〕	ｸﾐｱｲ化学工業(株)・日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)・ﾃﾞｭﾎﾟﾝ(株)
ﾅﾌﾟﾛﾊﾟﾐﾄﾞ水和剤	ｸｻﾚｽ水和剤	既登録薬剤に同じ									(株)ｱｸﾞﾛｽ
DCMU・DPA・2,4-PA水和剤	ﾌﾙｷﾗｰ水和剤	既登録薬剤に同じ									(株)ｱｸﾞﾛｽ
DCMU水和剤	ﾀﾞｲﾛﾝｿﾞﾙ	3-(3,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-1,1-ｼﾞﾒﾁﾙ尿素・・・・50.0%	水和剤	水田畦畔	一年生雑草	北海道九州を除く全域		雑草発生前～生育初期(草丈15cm以下)	200～250 mℓ 〔希釈水量 100ℓ〕	茎葉兼土壌散布 〔本剤及びDCMUを含む農薬の総使用回数1回〕	保土谷化学工業(株)・北興化学工業(株)
ﾋﾞｱﾗﾎｽ液剤	クサノンスプレー	L-2-ｱﾐﾉ-4-[(ﾋﾄﾞﾛｷｼ)(ﾒﾁﾙ)ﾎｽﾌｨﾉｲﾙ]ﾌﾞﾁﾘﾙ-L-ｱﾗﾆﾝﾙ-L-ｱﾗﾆﾝのﾅﾄﾘｳﾑ塩・・・・0.4%	液剤	公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・のり面等	一年生及び多年生雑草			雑草生育期(草丈30cm以下)	50～100 mℓ/㎡(原液散布)	雑草茎葉散布 〔本剤及びﾋﾞｱﾗﾎｽを含む農薬の総使用回数3回以内〕	武田薬品工業(株)
DCBN・DCMU・MDBA粉粒剤	ｸﾘｰﾝｾｲﾌﾞ・ﾈｺｿｷﾞZ・草一番・ﾌﾏｷﾗｰHW微粒剤	2,6-ｼﾞｸﾛﾛﾁｵﾍﾞﾝｻﾞﾐﾄﾞ・・・・1.5% 3-(3,4-ｼﾞｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-1,1-ｼﾞﾒﾁﾙ尿素・・・・5.0% 2-ﾒﾄｷｼ-3,6-ｼﾞｸﾛﾛ安息香酸・・・・1.5%	粉粒剤	公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・宅地・鉄道等	一年生及び多年生広葉雑草ｽｷﾞﾅ			雑草発生前～生育初期(草丈20cm以下)	15～25 kg	全面均一散布 〔本剤のみを使用する場合の使用回数3回以内 DCBNを含む農薬の総使用回数3回以内 DCMUを含む農薬の総使用回数3回以内 MDBAを含む農薬の総使用回数3回以内〕	保土谷化学工業(株)・ﾚｲﾝﾎﾞｰ薬品(株)・(株)理研ｸﾞﾘｰﾝ・ﾌﾏｷﾗｰ(株)
ｱﾄﾗｼﾞﾝ・ｵﾙｿﾍﾞﾝｶｰﾌﾞ・MCPP水和剤	ｸﾘｱﾗﾝｻｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ	2-ｸﾛﾛ-4-ｴﾁﾙｱﾐﾉ-6-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾉ-s-ﾄﾘｱｼﾞﾝ・・・・5.0% S-(2-ｸﾛﾛﾍﾞﾝｼﾞﾙ)N,N-ｼﾞｴﾁﾙﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ・・・・35.0% α-(2-ﾒﾁﾙ-4-ｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ)ﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｶﾘｳﾑ・・・10.0%	水和剤	日本芝	一年生雑草及び多年生広葉雑草			雑草発生前～生育初期	1～1.5 ℓ 〔希釈水量 200～300 ℓ〕	全面均一散布 〔本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｱﾄﾗｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数2回以内 ｵﾙｿﾍﾞﾝｶｰﾌﾞを含む農薬の総使用回数3回以内 MCPPを含む農薬の総使用回数3回以内〕	(株)理研ｸﾞﾘｰﾝ

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ﾋﾞｱﾗﾎｽ液剤	ｾﾞﾆｺﾞｹﾀﾞｳﾝAL	L-2-ｱﾐﾉ-4-[(ﾋﾄﾞﾛｷｼ)(ﾒﾁﾙ)ﾎｽﾌｨﾉｲﾙ]ﾌﾟﾁﾘﾙ-L-ｱﾗﾆﾙ-L-ｱﾗﾆﾝのﾅﾄﾘｳﾑ塩‥‥1.0%	液剤	公園・庭園・駐車場・宅地等	ｾﾞﾆｺﾞｹ			生育期	50～100 mℓ/m²	散布	北興産業(株)
ｲﾏｻﾞｷﾝ・ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ水和剤	ｵﾌﾟﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ	(RS)-2-(4-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙ-4-ﾒﾁﾙ-5-ｵｷｿ-2-ｲﾐﾀﾞｿﾞﾘﾝ-2-ｲﾙ)ｷﾉﾘﾝ-3-ｶﾙﾎﾞﾝ酸‥‥8.5% N-(1-ｴﾁﾙﾌﾟﾛﾋﾟﾙ)-3,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2,6-ｼﾞﾆﾄﾛｱﾆﾘﾝ‥‥36.0%	水和剤	日本芝(こうらいしば)	畑地一年生雑草			秋期～冬期(雑草発生始期～生育期)	300～500 mℓ (希釈水量 200～250 ℓ)	散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｻﾞｷﾝを含む農薬の総使用回数3回以内 ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝを含む農薬の総使用回数2回以内)	日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)
ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾝ塩・MCPｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾝ塩液剤	ｻﾌﾞｿﾞｰﾝ	ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=N-(ﾎｽﾎﾉﾒﾁﾙ)ｸﾞﾘｼﾅｰﾄ‥‥34.0% 2-ﾒﾁﾙ-4-ｸﾛﾛﾌｪﾉｷｼ酢酸ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾐﾝ‥‥6.5%	液剤	道路・鉄道・宅地・公園・運動場・堤とう・のり面等	一年生及び多年生雑草			雑草生育期	1～1.5 ℓ (希釈水量 50～100 ℓ)	雑草茎葉散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数3回以内 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄを含む農薬の総使用回数3回以内 MCPを含む農薬の総使用回数3回以内)	日産化学工業(株)・日本ﾓﾝｻﾝﾄ(株)
ｲﾏｻﾞﾋﾟﾙ・ﾃﾄﾗﾋﾟｵﾝ粒剤	ﾌﾞｯｼｭﾛﾝ粒剤	ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=(RS)-2-(4-ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙ-4-ﾒﾁﾙ-5-ｵｷｿ-2-ｲﾐﾀﾞｿﾞﾘﾝ-2-ｲﾙ)ﾆｺﾁﾅｰﾄ‥‥1.2% 2,2,3,3-ﾃﾄﾗﾌﾙｵﾛﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ‥‥3.0%	粒剤	ひのき(下刈り)	ｻｻ、ｽｽｷ、雑かん木、一年生及び多年生雑草			春期又は秋期	8～10 kg	全面均一散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ｲﾏｻﾞﾋﾟﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾃﾄﾗﾋﾟｵﾝを含む農薬の総使用回数1回)	保土谷化学工業(株)・日本ｻｲｱﾅﾐｯﾄﾞ(株)
				公園・庭園・堤とう・駐車場・道路・運動場・鉄道・宅地等	一年生及び多年生雑草				10～20	全面均一散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数2回以内 ｲﾏｻﾞﾋﾟﾙを含む農薬の総使用回数2回以内 ﾃﾄﾗﾋﾟｵﾝを含む農薬の総使用回数2回以内)	

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名・場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
ニコスルフロン乳剤	ワンホープ乳剤	2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-N,N-ジメチルニコチンアミド・・・4.0%	乳剤	飼料用とうもろこし	畑地一年生雑草及びシバムギ、レッドトップ			とうもろこし3～5葉期但し収穫30日前まで	100～150mℓ (希釈水量 70～100 ℓ)	雑草茎葉散布 (本剤及びニコスルフロンを含む農薬の総使用回数1回)	石原産業(株)
ベンチオカーブ・ベンディメタリン・リニュロン粉粒剤	クリアターン細粒剤F	S-(4-クロロベンジル)-N,N-ジエチルチオカーバメート・・・8.0% N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン・・・・0.80% 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素・・・・1.2%	粉粒剤	だいず・えだまめ・とうもろこし	畑地一年生雑草	北海道を除く全域	全土壌(砂土を除く)	播種直後(雑草発生前)	4～5kg	全面土壌散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数1回 ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数1回 ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数1回 リニュロンを含む農薬の総使用回数1回)	クミアイ化学工業(株)・日本サイアナミッド(株)・デュポン(株)
				小麦		東北、北陸、関東・東山・東海					
トリフルラリン・ベンディメタリン粉粒剤	コンポラル	α,α,α-トリフルオル-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ-トルイジン・・・1.2% N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン・・・・1.2%	粉粒剤	こんにゃく	畑地一年生雑草ただしツユクサ・キク科雑草を除く		砂壌土～埴土	植付後又は培土後(植付後30日まで)	4～6kg	全面土壌散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数1回 トリフルラリンをを含む農薬の総使用回数2回以内 ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数1回)	塩野義製薬(株)・ダウ・ケミカル日本(株)・日本サイアナミッド(株)
				ねぎ			全土壌	定植直後		全面土壌散布 (本剤のみを使用する場合の使用回数1回 トリフルラリンをを含む農薬の総使用回数1回 ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数1回)	
				にんじん			砂壌土～埴土	播種直後			
				さといも				植付直後			
				やまのいも				植付後～萌芽前(植付後30日まで)			
プロジアミン複合肥料	テマナックス	5-ジプロピルアミノ-α,α,α-トリフルオロ-4,6-ジニトロ-o-トルイジン・・・0.24%		日本芝	一年生雑草(キク科雑草を除く)			春期雑草発生前(芝生育期)	50～60kg	全面土壌散布 (本剤及びプロジアミンを含む農薬の総使用回数2回以内)	日産化学工業(株)

新登録生育調節剤一覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課
平成5年9月1日～平成7年1月31日

種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物	使用目的	使用時期	10a当り使用量散布液量	希釈倍数	使用方法	登録会社
ｳﾆｺﾅｿﾞｰﾙP複合肥料	ｽﾐｼｮｰﾄ56・ｺｰﾌﾟｼｮｰﾄ56・ｺｰﾌﾟｼｮｰﾄA56	(E)-(S)-1-(4-ｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-4,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2-(1H-1,2,4-ﾄﾘｱｿﾞｰﾙ-1-ｲﾙ)ﾍﾟﾝﾀ-1-ｴﾝ-3-ｵｰﾙ・・・0.0030%		水稲	節間短縮による倒伏軽減	出穂25～20日前	30～40 kg		湛水散布〔本剤及びｳﾆｺﾅｿﾞｰﾙPを含む農薬の総使用回数1回〕	住友化学工業(株)・ｺｰﾌﾟｹﾐｶﾙ(株)・住化ｸﾞﾘｰﾝﾃｯｸ(株)
ﾊﾟｸﾛﾌﾞﾄﾗｿﾞｰﾙ複合肥料	くみあいｴﾑﾏｲﾃｨ9号	(2RS,3RS)-1-(4-ｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-4,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2-(1H-1,2,4-ﾄﾘｱｿﾞｰﾙ-1-ｲﾙ)ﾍﾟﾝﾀﾝ-3-ｵｰﾙ・・・・0.090%		水稲	節間短縮による倒伏軽減	出穂15～25日前(但し収穫45日前まで)	20 kg		湛水散布〔本剤及びﾊﾟｸﾛﾌﾞﾄﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数1回〕	三菱化成(株)
ﾊﾟｸﾛﾌﾞﾄﾗｿﾞｰﾙ複合肥料	くみあいｴﾑﾏｲﾃｨ6号	(2RS,3RS)-1-(4-ｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-4,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2-(1H-1,2,4-ﾄﾘｱｿﾞｰﾙ-1-ｲﾙ)ﾍﾟﾝﾀﾝ-3-ｵｰﾙ・・・・0.060%		水稲	節間短縮による倒伏軽減	出穂15～25日前(但し収穫45日前まで)	20～30 kg		湛水散布〔本剤及びﾊﾟｸﾛﾌﾞﾄﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数1回〕	三菱化成(株)
ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ水溶剤	ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝTM顆粒	既登録薬剤と同じ								(株)ﾄｰﾒﾝ
ﾌﾟﾛﾍｷｻｼﾞｵﾝｶﾙｼｳﾑ塩水和剤	ﾋﾞﾋﾞﾌﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｶﾙｼｳﾑ=3-ｵｷｼﾄﾞ-5-ｵｷｿ-4-ﾌﾟﾛﾋﾟｵﾆﾙｼｸﾛﾍｷｻｰ3-ｴﾝｶﾙﾎﾞｷｼﾗｰﾄ・・1.0%	水和剤	水稲	節間短縮による倒伏軽減	出穂10～2日前	75～100 ml〔散布液量100～150 ℓ〕		茎葉散布〔本剤及びﾌﾟﾛﾍｷｻｼﾞｵﾝｶﾙｼｳﾑ塩を含む農薬の総使用回数1回〕	ｸﾐｱｲ化学工業(株)
ｳﾆｺﾅｿﾞｰﾙP複合肥料	ｽﾐｼｮｰﾄ42・ｺｰﾌﾟｼｮｰﾄ42・ｺｰﾌﾟｼｮｰﾄA42	(E)-(S)-1-(4-ｸﾛﾛﾌｪﾆﾙ)-4,4-ｼﾞﾒﾁﾙ-2-(1H-1,2,4-ﾄﾘｱｿﾞｰﾙ-1-ｲﾙ)ﾍﾟﾝﾀ-1-ｴﾝ-3-ｵｰﾙ・・・0.0040%		水稲	節間短縮による倒伏軽減	出穂25日前	25～30 kg		湛水散布〔本剤及びｳﾆｺﾅｿﾞｰﾙPを含む農薬の総使用回数1回〕	住友化学工業(株)・ｺｰﾌﾟｹﾐｶﾙ(株)・住化ｸﾞﾘｰﾝﾃｯｸ(株)

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話　東京(03)3832-4188(代)

平成7年2月発行　　定価412円(送料250円)
植調第28巻第11号　　(本体400円, 消費税12円)

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　千坂英雄
発行人　植調編集印刷事務所　広田伸七

発行所　東京都台東区台東1-26-6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話　東京(03)3833-1821番(代)
印刷所　新成印刷㈱

飛散のない少量散布技術

耕起前の低温時でも、
しっかり問題雑草を抑え、
しかも、安い。ポラリス。

除草効果を高める特殊製剤

ポラリス® 液剤

®米国モンサント社登録商標

詳しい資料ご希望の方は資料請求券貼付の上、下記へ。
お問合わせは最寄の農協(JA)、または農薬販売店へ。
日本モンサント株式会社 〒107 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル31階

資料請求券
P加盟C

自信の選択。

水田除草、新時代。

水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84※剤

プッシュ® ウルフエース ザーク®
ゴルボ® フジクラス®

※DPX-84の一般名はペンスルフロンメチル

(登録番号順)

DUPONT デュポン株式会社 農薬事業部
〒153 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコ・タワー TEL.(03)5434-6116

新しい流れ、
時代は1キロ、軽量化!!

10アール当り
1kgの散布

少量化で省力化。

1キロ粒剤
の特長

①10アール(1反)当たり1kgの散布で安定した除草効果
②軽量なので作業が楽
③散布効率が向上
④軽量、小型なので持ち運びが楽
⑤最新技術で工夫した製剤
⑥省資源を目指した製剤

1キロ

水稲用一発処理除草剤
ウルフエース1キロ粒剤51・75

JAグループ
農協 全農® 経済連
®は登録商標です

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-91

効きめ、あざやか。

3.5葉期までのノビエを確実に防除
残効性が長く、経済的な——
水田中期除草剤
マメットSM®粒剤

クログワイなどの難防除雑草に
体系防除の中期剤としても使える—
初中期一発除草剤
ベルーフ®粒剤

①使用前にはラベルをよく読んでください。
②ラベルの記載以外には使用しないでください。
③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ
農協 全農 経済連
全農は登録商標 第1902445号

〔モリネート普及会〕
ゼネカ株式会社
株式会社トーメン
三笠化学工業株式会社

事務局:
八洲化学工業株式会社
〒213 神奈川県川崎市高津区二子757-1